

科目名 (英)	campus婚 campus marriage	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>ブライダルシステムの授業で学んだ知識をもとに、アウトプットがメインの内容で進めてまいります。 接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を見つげるために、ロールプレイング(結婚式の打ち合わせの流れや)を行うことで、人前で話すことの恥ずかしさを払拭し、お客様の前で堂々とトークができるようになることを身につけていただきます。 また、時代に沿った接客スタイル(リモート接客)を実際に行うことで、難しさを体感しました、プレゼン力も身につけることができる内容で進めてまいります。 ※実務経験 法人営業やホテル・ブライダル業界10年以上キャリア。現在はウェディングプランナー育成に携わっている。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>恐怖感・不安感を持たず、人前で話すことができる 打ち合わせ時にお客様へのヒアリングとご提案ができる</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業内容の説明、自己紹介(自分自身を商品に例えプレゼンを行う)を行うことでプレゼン力を身につけることができる	
2回目	1年次で学んだ結婚式の打ち合わせの流れを提示、説明ができる	
3回目	ヒアリングのポイント・コミュニケーションのポイントを身につけることができる	
4回目	クロージングのポイント・課題分析のポイント・打ち合わせのスケジューリング(タイムスケジュール作成)のポイントを身につけることができる	
5回目	求められる5つの基本能力(①プレゼンテーション能力②ヒアリング能力)のポイントを身につけることができる	
6回目	求められる5つの基本能力(③コーディネート力④営業力⑤問題解決能力)のポイントを身につけることができる	
7回目	中間テスト	
8回目	①リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
9回目	②リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
10回目	①新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
11回目	②新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
12回目	作成したコラーージュをもとに提案力を身につけることができる	
13回目	不安や悩み対策としてのトーク力を鍛えることができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テストのフィードバック
準備学習 時間外学習		
評価方法	ロールプレイング方式90% 授業に対する意欲10%(発表回数など)	
受講生への メッセージ	接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を身につけていきます。 お客様の前で話す事への不安な気持ちを払拭し、質の高い接客力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル Bridal professionau	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	90 6	開講区分	前期・後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>昨今需要が増しているフォトウェディングについて、新しいフォトプランを考案し、スタジオネスト様に提案。商品化を目指す。</p> <p>あ・うん企画様のご協力のもと、新型コロナウイルスの影響で、婚礼を余儀なくされている新郎新婦様に向けて、フォトウェディング(前撮り)を提案する。学生とフォトウェディングをすることのメリットをお2人にプレゼンテーションし、自らの力でお客様との契約を目指す。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ブライダル業界での実用化を目的としたフォトプランを企画立案し、提案すること。</p> <p>フォトウェディングのお客様の成約と当日まで企画・運営。</p>							

授業計画・内容	
1回目	本プロジェクトの経緯と目的が理解できる / 対象お客様のご紹介
2回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる① / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる
3回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる② / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる
4回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる③ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる
5回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる④ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる
6回目	(予定) (6回目) 1組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく
7回目	(予定) (7回目) 2組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく
8回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
9回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
10回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
11回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
12回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
13回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる
14回目	★評価週 ※フォト撮影は9～10月頃でしょうか。
15回目	★まとめ・追試/再試 後期は経験を踏まえて、スタジオネスト様と商品化へ向けての企業プロジェクトとする
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポート
受講生への メッセージ	お客様のご都合に合わせて、打合せを組んでいきます。 お客様にもお仕事や普段の大切な生活があります。 打合せが土日に入る場合もありますので、クラスメイトと協力しながらお客様の記憶と記録に残る1日を作りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企業プロジェクト corporate collaboration project	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	90 6	開講区分	前・後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p> <p>実施授業：プライダル業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。昨年度の同授業で先輩が企画したものをベースにさらに精度を高めた提案をすること。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>プライダル業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒他己紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有
2回目	株式会社サウスポイント様よりIT業界とプライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
10回目	株式会社サウスポイント様へ中間プレゼンテーション
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
14回目	★評価週 株式会社サウスポイント様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試 講評
準備学習 時間外学習	
評価方法	プレゼンテーション
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々々に順応し、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	卒業制作 Graduation exivision	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	田中 香利
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 月曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】ブライダル業界の現場で実際に使用されている【打合せシステム】を使用し、実践型の学習をします。就職後の即戦力となるスキルを身につけることができます。							
【実務経験】							
株式会社千草 にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】							
■ブライダルシステムを使用し、席次表を作成が出来るようになる ブライダルアイテムの販売構成・原価・利益などの数字を分析する力を身につけることができる							

授業計画・内容	
1回目	ギフトプランナー 招待客リスト～引出物セレクト～席次表作成までの一連の流れをシステムを使用して理解・把握・作成することができる
2回目	ブライダルフェア企画:集客目標を設定し、ブライダルフェアのイベント企画・スケジュールリング力を身につけることができる
3回目	ブライダルフェアPOP作成 集客用のPOPを作成する力を身につけることができる
4回目	ブライダル見積書作成① ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる
5回目	ブライダル見積書作成② ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる
6回目	ブライダル見積書作成③ ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる
7回目	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成①少人数フォト婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる
8回目	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成②大人数婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる
9回目	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成③リゾート婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる
10回目	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る①
11回目	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②
12回目	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②
13回目	テスト対策 まとめ
14回目	★評価週 PC/システムを使用したテスト
15回目	★まとめ 振り返り 期末テスト 振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	PC/システムを使用
受講生への メッセージ	学生時代に学べることは貪欲に学び、就職後の即戦力となるような授業内容ですすめていきます。業界必須のスキルを身につけていきましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
PC/ブライダルシステムBbann	

科目名 (英)	テクノロジー演習 Technology exercise	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
映像制作技術を有する教員が、ブライダルアイテムのひとつである映像実習授業を展開し、どういった映像を制作するのか、立案から完成までのプロセスを身に付けます。 ※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)							
【到達目標】							
映像を制作するスキル、ソフトの使い方等を必要最低限身に付け、スケジュールの組み立て、クオリティの確保を経験し、映像制作ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション/映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる①(写真を使った簡単な操作方法)	
2回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる②(写真を使った簡単な操作方法)	
3回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる③(テロップを用いた簡単な操作方法)	
4回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる④(動画を使った簡単な操作方法)	
5回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる⑤(動画を使った簡単な操作方法)	
6回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる⑥(動画を使った簡単な操作方法・それぞれの作った映像を)	
7回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る①	
8回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る②	
9回目	素材撮影・映像制作が出来る①	
10回目	素材撮影・映像制作が出来る②	
11回目	素材撮影・映像制作が出来る③	
12回目	素材撮影・映像制作が出来る④	
13回目	素材撮影・映像制作が出来る⑤	
14回目	★評価週	完成映像の提出
15回目		総評・まとめ
準備学習 時間外学 習		
評価方法	テスト(映像提出による完成度)にて評価	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
PC数台・PCソフト(Adobe premiere pro)		

科目名 (英)	韓国語 I・II Korean Language	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	金 有里
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期 月曜3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
2017年からラジオ局LOVE FMにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げた。講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークなレッスンをモットーに韓国語講師として活動中。							
【到達目標】 ハングルを読めるようになる、自己紹介が出来る、簡単な会話ができる。							

授業計画・内容		
第1回	韓国語の仕組みと母音の勉強1	
第2回	子音の勉強1	
第3回	子音の勉強2	
第4回	母音の勉強2、パッチム	
第5回	ここまでのまとめ復習とK-pop ソング、数字の勉強	
第6回	漢数字を使った会話、体の部位	
第7回	数え数字の勉強	
第8回	曜日、月、年、時間など	
第9回	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学ぶ その1	
第10回	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学ぶ その2	
第11回	今までの総まとめのテストとk-popソング	
第12回	韓国語の航空アナウンスしてみよう	
第13回	自己紹介と自身の言いたい事をまとめて韓国語でいう練習 その1	
第14回	★評価週	自己紹介と自身の言いたい事をまとめて韓国語でいう練習 その2
第15回	★まとめ・追試/再試	発表と最後にK-popソング
準備学習 時間外学習		
評価方法	テストと参加態度	
受講生へのメッセージ	韓国語は日本語と文法が同じで発音がほぼ同じものもあるくらいスツと入ってきやすかったり、激むずだったり面白い外国語です！！口をよく動かします。発音だけ最初慣れるまで練習が必要ですので口の体操よくしといてください！！授業が進むと複雑になって混乱するときは、その都度細かい事も必ず質問してもらって、クリアにしてから次のステップに行きましょう！！とにかく肩の力を抜いてリラックスして楽しく授業していきましょう！！！！	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ネイル検定	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	坂本 結佳子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期・後期 木曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロンワークやブライダルネイル、新人研修などの経験があるネイリストが15回の授業を通して基礎的なネイルケア、ポリッシュやジェルネイルの扱い方を学ぶ。ブライダルプランナーとしてのネイルデザインのカウンセリングの為の知識を得る事ができる。ブライダルネイルにも使えるデザインのチップを作成し、撮影、コラージュ作成をする。							
※実務経験 5年間にわたり株式会社BRONZE EYEにてネイリストとして勤務。その中でブライダルネイルの施術にも携わる。 その他新人研修にも携わり基礎知識や接客、カウンセリングなどを指導。現在は自宅ネイルサロンを開業。(現在5年目)							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルケアの基礎的な知識と技術を習得する ・ブライダルネイルのデザインを学ぶ 							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、爪の名称、ブライダルネイルについて、商材説明、シラバス説明
2回目	ネイルケアからポリッシュの仕方説明、自分の爪に実践
3回目	ネイルケアからポリッシュまで相モデルに実践
4回目	ネイルケアからポリッシュまで相モデルに実践
5回目	ネイルチップデザイン決め、ジェルネイル説明
6回目	ネイルチップ作成
7回目	ネイルチップ作成
8回目	ネイルチップ作成
9回目	ネイルチップ作成
10回目	ネイルチップ作成
11回目	ネイルチップ作成
12回目	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成
13回目	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成
14回目	★評価週・コラージュ作成予備
15回目	★まとめ・コラージュ作成予備
準備学習 時間外学習	授業で学んだことは授業外でも実践してみましょう。 苦手なことができたならそのままにせずメモなどをして次の授業で消化できるようにしておくことが望ましいです。 最後にブライダルネイルチップ撮影をします。それまでにドレス、ブーケ、ネイル、背景などを考えておいてください。
評価方法	ネイルチップ制作、コラージュ作成 授業出席率、授業態度
受講生へのメッセージ	ジェルネイルチップを作成する授業です。 将来ブライダルに関わるお仕事をする際にブライダルネイルデザインのご提案の仕方やカウンセリング力を身につけて新郎新婦様のお役に立つことができます。
【使用教科書・教材・参考書】	
・コットン・キッチンペーパー・エメリーボード×人数・ウッドスティック×人数・ブルークロス×1・ポリッシュリムーバー×1L1個 ・からポリッシュボトル×人数・からディスペンサー×人数・ポリッシュトップ×人数・ポリッシュベース×人数・ジェル筆×人数 ・イト×人数・ネイルチップクリア×人数・ネイルチップを作るための材料	

科目名 (英)	ブライダルコーディネーター検定2級 Bridal coordinate Grade2	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界での基礎を基本にロールプレイング力が身に付くような授業を行う							
※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
株							
【到達目標】							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターエキスパート教本を基本に知識及び実技のロールプレイングができるようになる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 授業内容の説明、評価方法の説明とコーディネーター業務の定義(P16.P17)	
2回目	ロールプレイングの意味と必要性が理解できる	
3回目	新郎新婦の新規接客のDVD鑑賞後に分析ができる(A.Bパターン)	
4回目	クロージングと成約(P20)のポイントが理解できる	
5回目	ブライダルにおけるヒアリング(顧客の動機を知る・ヒアリングの基本テクニックを知る) (P34.P35)	
6回目	新規ヒアリングの基本が理解できる(資料請求・来館時のヒアリング) (P38~P41)	
7回目	新規ヒアリングのロールプレイングの実技ができる、アンケート記入の依頼ができる(P42~P45)	
8回目	中間テスト 新規ヒアリングのロールプレイングができる、内覧時のヒアリングができる	
9回目	クロージング時単価アップ(売上アップ)のロールプレイング実技ができる	
10回目	成約後ヒアリング、プランニングに必要なヒアリングの理解ができる (P50~P52)	
11回目	A新規プランニングを個々で提案し、その流れをロールプレイングしてできるようになる	
12回目	B新規プランニングを個々で提案し、その流れをロールプレイングしてできるようになる	
13回目	C新規プランニングを個々で提案し、その流れをロールプレイングしてできるようになる	
14回目	★評価週	期末テスト(新規接客～クロージング)実技
15回目	★まとめ・追試/再試	前期の振り返り、自身のスキルアップをレポートにする
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	実技 中間テスト 50% (ロープレ) 期末テスト 50%	
受講生へのメッセージ	スーパーブライダルとして3年目です。コミュニケーション力を高め、実力を発揮し自分自身の目標を定め進んでください	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(エキスパート)を参考とします		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー講座 business manner	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	吉良牧子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルコンシェルジュやブライダルプランナーの新規接客経験を持つ教員が、社会・業界に必要なビジネスマナーをトレーニングをする講義を展開します							
【到達目標】							
社会人として必要なビジネスマナーを身に付け、実践できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 自己紹介の本当の目的を知り活用できる
2回目	挨拶 挨拶の由来と必要性と世界の挨拶を知り、挨拶で印象を変えることができる
3回目	話し方、聞き方 声の出し方で印象を良くすることができる
4回目	発声 滑舌チェック、早口言葉のレッスンで日頃の癖を知り改善できる
5回目	社会人と学生の違いについて考え、口頭伝達できる
6回目	名刺交換 自分にキャッチコピーを付け、スムーズな動作で名刺交換ができるようになる
7回目	電話対応のマナーを学び、対応ができるようになる
8回目	冠婚葬祭のマナーを学び、身に付ける
9回目	心のこもったお礼状を書くことができる
10回目	第一印象と敬語 カウンセリングをしながら正しい敬語を使用することができる
11回目	クレーム対応について考え、対応方法を習得する
12回目	感動のサービスについて学び、顧客対応に活かすことができる
13回目	社会に出る前に身だしなみは整っていますか？チェックシートで確認し、おしゃれと身だしなみの違いを知り、活かすことができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	テスト
受講生への メッセージ	ビジネスマナーを学ぶ機会はいままであったのに、マスターに及ばなかった理由を追求し、自分で知って考えて行動することをビジネスマナーに当てはめながら伝えていきます。難しいものではなく、思いやりであることを知って欲しいです。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ヘアメイク演習 Hairmake Practice	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	月曜1限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ブライダルヘアメイクの仕事を理解し、感性・創造力を高めていく実習を行う。前期で学んだメイクの基礎を活かした応用となるため、顔分析に基づき、似合わせるメイクをしっかりと身に付ける授業を行う。実習の中でブライダル業界で役立つ知識と技術だけではなく、メイクアップアーティストとしてのマナーや心構えに関する授業も行う。お客様に触れさせていただくという意識を持ち、手から、ブラシから伝わる「思いやりの気持ち」の大切さを身に付ける。</p> <p>【実務経験】 15年間主にブライダル業界で花嫁のヘアメイクをする傍ら、ショーモデル・広告などの撮影ヘアメイクや、学校や企業向けにセルフメイク講習を行う。また、JMA検定講師として検定対策にも携わっている。(4年)</p>							
【到達目標】							
<p>相モデルでお互いの顔を分析をしたうえで要望や悩みを聞き、的確なアドバイスと寄り添った接客力を身に付ける。和、洋どちらにも対応できるヘアメイクを習得する。相モデルでメイクをイメージ通りに表現できるよう練習し、後半にはドレスとヘアメイクのトータルバランスを考え提案し、創りたい新郎、新婦のイメージを形に出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ヘアメイク座学①～ヘアメイクに入るその前に～スタンスや、タッチ、道具の使い方を身に付けることが出来る
2回目	ヘア演習①相モデルで(ショートヘア、男子はウィッグで)一束結び、ピンギの習得。簡単シニヨンスタイルが出来るようになる。
3回目	メイク演習①モデルの骨格を理解しキュートメイクを出来るようになる
4回目	ヘア演習②留袖に合う下目のシニヨンスタイルが出来るようになる。
5回目	メイク演習②列席者に似合うパーティーメイクが出来るようになる。※いつもの道具に加えラメやグリッターを持参していただいて構いません。
6回目	ヘア演習③アイロンでミックス巻きが出来るようになる。
7回目	ヘア演習④アイロンでミックス巻きが出来るようになる。緩いボニーテールアップスタイルが作れるようになる。
8回目	ヘアメイク座学②色と質感と形について学び理解が出来る
9回目	メイク演習③【ブライダルヘアメイクの資料】選んだ花嫁ドレスに合うヘアメイクが出来るようになる。
10回目	ヘアメイク演習①【ブライダルヘアメイクの資料】撮影ヘア決め、テーマ、ドレス、アングル、小物、撮影アイテム決め
11回目	ヘアメイク演習②カウンセリングシートに基づいて定期試験に向けてヘアメイクの練習する。
12回目	ヘアメイク演習③カウンセリングシートに基づいて定期試験に向けてヘアメイクの練習する。
13回目	★評価週 ヘアメイク(40分)→フィッティング(10分)【前半組】→撮影&プリントアウト
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%(実技試験とメイクのカウンセリングシートでも評価。)
受講生への メッセージ	<p>相モデルでの授業です。お友達のことを考え欠席はできるだけ避けて下さい。後期はマスクをした状態での授業となります。前期で身につけたベースメイクを自らの顔に行った状態で臨んでください。自分が身に付けて磨いた技術でお客様が喜んでくださる感動をぜひ体感してもらえると幸いです。</p> <p>※持参物は配布物、筆記用具、メイク道具一式、フェイスタオル二枚、コットン、綿棒、メイク落とし(シートでも液状でも可)ティッシュペーパー、マスク、フェイスシールド、雑誌やヘアメイクのコピーが必要な授業もあります。お手持ちのものや学校のものでかまいませんので追加で購入の必要はありません。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フード&ビバレッジⅡ Food&BeverageⅡ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	濱中 健一
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日4時限
<p>【授業の学習内容】 フードからドリンクまで食の分野に関する基礎知識を学びます ※教務実務経歴:1994年～2011年まで現場でパティシエとして勤務、ホテルのシェフパティシエや商品開発も行う 資格:技能検定1級、職業訓練指導員他</p>							
<p>【到達目標】 業界で働くにあたって必要な食に関する基礎知識を取得出来る <具体的な目標> 食べ物の味覚の違いや季節間、コース料理の流れや簡単なマナーを身に付けることが出来る</p>							

授業計画・内容	
第1回	味覚についての基礎知識
第2回	色々な食べ物を知る(実験)
第3回	料理の種類(世界、日本)
第4回	色々な料理の流れを知る
第5回	ドリンク実習(上園先生)
第6回	ドリンク実習(上園先生)
第7回	調理(白川先生)料理についての基礎知識
第8回	調理(白川先生)料理についての基礎知識
第9回	デザートについて
第10回	チョコレート コンフィズリー
第11回	焼き菓子
第12回	調理(白川先生)料理についての基礎知識
第13回	コース料理
第14回	コース料理
第15回	テスト
準備学習 時間外学習	
評価方法	●出席点(25%) ●筆記試験(75%) 授業内で習った内容の確認
受講生へのメッセージ	お客様に喜んでもらうためにはまずは自分が食の楽しさを知ることが大事です。 色々なことに興味を持って取り組みましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	和装着付 Kimono dressing	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	渡辺 麻紀
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	木曜 1・2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 専門職として着物に関する知識を広げる座学、婚礼にまつわる着物の着せ付けの授業を行う。 相モデルでの実習となる授業のため、遅刻や欠席は出来るだけせず臨んでほしい。							
【実務経験】 冠婚葬祭や、ショーなどで着付けを手掛ける(12年)国家資格である1級着付け技能士の資格を有し、着付けの指導も行っている。(7年)							
【到達目標】 晴れの日の着付けにおいて知識を身に付け、実技を反復して練習することにより衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となる。また着付師として着物や帯の柄とお客様の体型とのバランスを考慮し、見合った着せ付けが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	道具のセッティング、畳み方の復習。長襦袢を美しく着付けることができる。
2回目	長襦袢を美しく着付ける復習。黒留袖を着付けることができる。
3回目	長襦袢を美しく着付ける復習。黒留袖を着付けることができる。
4回目	帯結び演習①長襦袢、着物を50分で着付け、お太鼓結びまで出来るようになる。
5回目	帯結び演習②長襦袢、着物を50分で着付け、お太鼓結びまで出来るようになる。
6回目	帯結び演習③長襦袢、着物を50分で着付け、お太鼓帯結びまで出来るようになる。
7回目	帯結び演習④長襦袢、着物を50分で着付け、お太鼓帯結びまで出来るようになる。
8回目	【中間テスト】 20分で長襦袢着付けることができる。
9回目	補正を見直し、長襦袢を美しく着付け(15分)留袖、帯を35分で着付けることができる。
10回目	着物の知識を生かした接客のシュミレーションを身に付けることができる(お客様を対象とした提案力)
11回目	3人1組で着付けのヘルプを身に付けることができる(職務上で必要とされる技術)
12回目	3人1組で着付けのヘルプを身に付けることができる(職務上で必要とされる技術)
13回目	定期試験に向けて練習する。
14回目	★評価週 50分で黒留袖を着付ける。
15回目	★まとめ・追試/再試 50分で黒留袖を着付ける。
準備学習 時間外学習	相モデルで時間確保のため、授業前に必要な道具を準備しチャイムと同時に始められるようにする。ノートや動画を見直し復習する。 筆記用具、定規(15センチ以上)マスク、フェイスシールドを持参する。 ドラマや映画で着物を見る機会があったら意識して見てみる。
評価方法	中間テスト30%期末テスト70% 実技試験で評価。
受講生への メッセージ	前期では基礎となる着付けの知識を学びました。後期は技術力を高めると共に接客スキルも身に付けていきます。業界で即戦力となるよう、頑張ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 着物用語辞典・きもの入門	

科目名 (英)	ブライダルプロジェクト	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈
	Bridal Project	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	金曜1・2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【実務経験】 中尾 茉奈:教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。</p> <p>【授業内容】 1年次に学んだ内容を活かした模擬結婚式・披露宴を実施します。</p>							
<p>【到達目標】 1年次に学んだ結婚式・披露宴に関する知識をもとに、模擬結婚式披露宴を実施することができるようになる。 主体的に企画立案や準備に取り組み、チームで一つのものをつくりあげることができるようになる。 SNS等を使用した集客に関する方法を学び、実践に移すことができるようになる。 ※会場の場所によっては内容の変更が発生する可能性があります</p>							

授業計画・内容	
第1回	1年次の振り返り:披露宴の意味を理解し説明できるようになる。
第2回	集客に関する知識①SNSを使用した集客方法を考える
第3回	集客に関する知識②SNS以外の集客方法を考える
第4回	別授業で決定したグループごとに準備を進める①
第5回	別授業で決定したグループごとに準備を進める②
第6回	別授業で決定したグループごとに準備を進める③
第7回	別授業で決定したグループごとに準備を進める④
第8回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第9回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第10回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第11回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第12回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第13回	模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第14回	模擬披露宴実施日予備日
第15回	プロジェクト全体を通しての振り返りを行い、良かった点と反省点を洗い出し発表する
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、イベント達成度50%(別紙参照)
受講生への メッセージ	他者と関わり合いながらのイベント運営は互いに学ぶことが多いです。全員が主役です。全てを糧にいきましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	ICT.AIビジネス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	ICT / AI business	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
一般的なプログラム言語「JavaScript」と「アート」を通じて、プログラミングの概要を学びます。

【実務経験】
講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクス分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。

【到達目標】
JavaScriptを通じてオブジェクト指向を学び、簡単な成果物を作成することができる

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有
2回目	ハローワールドを実行することができる
3回目	関数を使用し、リファレンスを活用することができる
4回目	変数とデータ型を理解し、活用することができる
5回目	フレームを操作し、演算を活用して動的な描画を行うことができる
6回目	関数作成し、活用することができる
7回目	条件文によって、分岐処理を行うことができる
8回目	ループによって、繰り返し処理を行うことができる
9回目	偶発性を活かした線を引くことができる
10回目	偶発性を活かした円を描くことができる
11回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 1
12回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 2
13回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 3
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
	期末テスト
	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ICT/AI基礎	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	ICT/AI fundamental	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p> <p>実施授業:ブライダル業界xAIで実際に社会実装を目的とした企画制作を行い、プレゼンテーションを行う。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>持続可能な事業として、企業に企画を受け入れてもらうことを目標としてプレゼンテーションを行う。</p>							
授業計画・内容							
1回目	前期の振り返りと後期の目標確認、制作会社のフィードバックの確認を行い、進捗の確認が出来る						
2回目	開発計画スケジュールの作成が出来る						
3回目	予算、及び収支計画の作成が出来る						
4回目	市場調査資料の作成が出来る						
5回目	プレゼンテーションビデオの作成が出来る						
6回目	プレゼンテーションの復習を行い、不足点を補える						
7回目	クライアント質疑応答対策を行いプレゼンに備えることが出来る						
8回目	クライアントフィードバックの対応一企画内容をまとめることが出来る						
9回目	クライアントフィードバックの対応一開発スケジュールを作成出来る						
10回目	クライアントフィードバックの対応一予算、及び収支計画の作成が出来る						
11回目	クライアントフィードバックの対応一市場調査をまとめることが出来る						
12回目	クライアントフィードバックの対応一質疑応答が出来る						
13回目	プレゼンテーション予行をし、本番に備えることが出来る						
14回目	★評価週 プレゼンテーション本番でクライアントに事業内容を伝えることが出来る						
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間外学習	なし						
評価方法	プレゼンテーションの完成度100%とする。						
受講生への メッセージ	講師、協力企業ともに、全力でサポートするので「自分たちがブライダル業界を変える！」つもりで企画を練り上げていきましょう。あと数ヶ月ですが頑張ってください！						
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>PCを毎回3台使用</p>							

福岡ホテル・ウェディング&製菓調理専門学校 2024年度 前期シラバス

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	宇佐美 敏子
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】							
【実務経験】 保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)ノホテルにプランナーとして1年勤務ノ結婚式場立ち上げの為プランナーとして2年勤務 BLD WEDDINGS株式会社にプランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる) 現在は講師業、結婚式場にてサービスマネージャーとしてブライダル業界に携わる 業界経験18年							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・学生と社会人の違いを理解することができる ・社会人基礎力を身に付け、将来のキャリアを見据えて自分の強みを活かした進路選択ができるようになる ・社会人になる前の準備を身につける事ができる 							

授業計画・内容	
第1回	就職活動状況の確認(状況に応じて今後の活動を指導または内定者との対談)
第2回	社員とアルバイトとの違いについて理解することができる
第3回	新入社員に求められるビジネスマナーについて学ぶことができる
第4回	新入社員に求められる社内でのビジネスマナーについて学ぶことができる
第5回	就職状況進捗確認
第6回	TO DOリストを理解し作成する事ができる
第7回	テスト対策
第8回	中間テスト
第9回	職場での人間関係構築について学ぶことができる①
第10回	職場での人間関係構築について学ぶことができる②
第11回	グループディスカッション①:テーマ/社会人になるためにどんなことをやっておいた方がいいのか
第12回	グループディスカッション②:チームごとで①のプレゼン
第13回	テスト対策
第14回	★評価週
	期末テスト:筆記試験
第15回	テスト振り返り/卒業までの過ごし方について考えることができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	・中間テスト・期末テスト100%
受講生への メッセージ	就職内定が出ている人は社会人になるための準備を!! まだ内定が出ていない人は就活ラストスパートです!! 後悔のないようみんなで頑張りましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 過去問題を解き出題をテキストから探し出すことが出来る (具体的な目標) 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容	
1回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
2回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
3回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
4回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
5回目	中間試験対策
6回目	中間試験・筆記
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
13回目	期末試験対策
14回目	★評価週
15回目	
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

【実務経験】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官

【到達目標】

全員、夏休み前には各年代の過去問90点以上

〈具体的な目標〉

目標①課題の抽出と克服が出来る

目標②類似問題の見極めが出来る

目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る

授業計画・内容

1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
14回目	★評価週
15回目	
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】	厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	ブライダル演習 Bridal exercise	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 接客シミュレーションを中心に、一連の流れを理解し衣裳の専門的な知識を身につける							
【実務経験】 TAKAMI BRIDALにて約8年半の実務経験有。社内資格として、チーフ・インストラクターの資格有。後輩指導やチーフ試験官などを経験。							
【到達目標】 実践に近づいたコーディネートや接客・提案ができるようになる							

授業計画・内容		
1回目	スタイリストの業務内容の復習とブライダル業界におけるスタイリストの立ち位置について学ぶ	
2回目	ドレスの勧め方についてお客様のご要望や会場に合ったドレスをご提案できるようになる	
3回目	実践でドレスのサイズ感について(妊婦様など)学ぶ	
4回目	タキシードのすすめ方について、お客様のご要望やドレスに合ったタキシードをご提案できるようになる(ロープレ)	
5回目	和装の試着方法と接客の流れを学ぶ(ロープレ)	
6回目	前回の復習を兼ねてお客様のご要望に沿ったご提案や柄の説明ができるようになる	
7回目	中間テスト	
8回目	中間テストの答案返却とその解説	
9回目	コラージュ作成 衣裳と会場のテーマをそれぞれ決めてコラージュを作成する	
10回目	先週のコラージュ作成を元に一人ずつ発表(プレゼン)する 会場・衣裳の提案ができるようになる	
11回目	【衣裳店研修】 TAKAMI BRIDALの店舗にて衣裳店の雰囲気や商品を見て学ぶ	
12回目	お客様のお出迎えからカウンセリング・衣裳提案までの流れをできるようになる(ロープレ)	
13回目	次週の試験の試験範囲の説明と実技試験の練習を行います	
14回目	★評価週	筆記試験と実技試験の予定
15回目	★まとめ・追試/再試	先週の答案用紙返却と解説
準備学習 時間外学習		
評価方法	●中間試験・期末試験(筆記・実技)	
受講生への メッセージ	スタイリストとして大切な知識をたくさんつめこんだ授業内容です。素敵な未来に向かって一緒に頑張っていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career Program	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈
学科・コース		授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
					2	曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>保育者養成校にて『子育て心理学』『発達心理学』『表現指導法』などの授業を担当。また、東京学芸大学の高尾隆准教授(現在は東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)に師事、“Improvisation”の手法を学び、それを基にしたコミュニケーション技法に関するワークショップやセミナーを実施。</p>							
【到達目標】							
<p>実践やワークを通して、接客業に必要なコミュニケーションスキルを身に付けることができる。 個人的な感情に左右されず、相手のことを考えた言動ができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	導入や授業の内容説明を通して、授業の目的と到達目標について知ることができるようになる。
2回目	ブレインストーミングやKJ法について知り、実践することで考え方の多様性について知ることができる。
3回目	他己紹介:ホットシーティングの手法を活用して得た情報をもとに、他者を紹介できるようになる。
4回目	「聞き上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
5回目	インプロゲーム「Yes, and」「What is next?」を通して、コミュニケーションにおける「聞くこと」について考えることができる。
6回目	「話し上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
7回目	インプロゲーム 「リア・ハンド・ホップラ」「ジブリッシュ」「私は木です」「さしすせそ禁止ゲーム」を通して、身体を使ったコミュニケーションについて知る
8回目	「読み上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
9回目	インプロゲーム「最初と最後」を通して、自ら考える力をつけることができるようになる。
10回目	「書き上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
11回目	「ブラインドワーク」を行い、目で見えたこと以外を言葉に書き起こすことを通して印象に残る描写の方法を知ることができる。
12回目	自己理解を深める 自分史年表の作成
13回目	ベアトレーニング 互いを褒め合うことを通して、他者を知る手段を見つける
14回目	何年後かの「自分」へ
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生へのメッ セージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	空間コーディネート演習 Spatial coordination	必修 選択	必修 選択	年次	2・3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>10年以上数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえつつ、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ空間コーディネートのフラワートレンド講義を行う。</p>							
【到達目標】							
<p>①目的やシチュエーションによって、空間コーディネートがどの様に人の心理に影響を与えるのかを知ることができる。②SNSやパンフレットを基に様々なホテルや飛行機内の空間コーディネートを比較して見ることができる。(校外実習も含む)③実際に自身で空間コーディネートをを行い、PPT作成をもってプレゼンすることができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介／授業内容について	
2回目	空間コーディネートとは何か理解することができる。	
3回目	VMDについて理解することができる。	
4回目	ディスプレイに用いる什器の効果的な組み合わせを理解し、実践に生かすことができるようになる。	
5回目	色彩がもたらす心理効果について学び身につけることができる	
6回目	グループワーク／空間に用いる色合わせでクライアントのニーズに応えるワークを行い理解できる	
7回目	前回のグループワークで提案した内容・意図を発表できる	
8回目	フィールドワーク準備／ホテルの空間コーディネートトレンドを意識した考察ポイントを整理し、次週に備える。	
9回目	校外実習(ホテル見学・日程調整中) 見学後考察をレポートにまとめることができる	
10回目	フィールドワークで考察した内容・感想をプレゼンテーション出来る	
11回目	ファッション視点からエアラインやホテルの制服に関して、最新のトレンドを知ることができる	
12回目	シーズナル装花／サマーアレンジメント制作ができるようになる。(¥2,000)	
13回目	期末試験	
14回目	★評価週	自身の考えた空間コーディネートの提案プレゼンテーション
15回目	復習	プレゼンテーションができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末70%/プレゼンテーション30%	
受講生へのメッセージ	最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び理解を深めることで、実践に活かすことができる空間コーディネート力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2023年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	JMA検定2級対策 JMA test level 2 measures	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	織田 純子
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜3・4限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。</p> <p>※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。また、JMA認定講師としても活動。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>JMA2級合格に必要なメイク知識、技術を習得できる。メイクの基礎技術を向上させ、ブライダルの現場で生かせるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	JMA2級について理解し、メイクを始める前の必要な知識を習得できるようになる。
2回目	スキンケア復習 手指消毒～乳液・美容液までのテクニックを実践できるようになる。
3回目	JMA 2 級ベースメイクの作り方を理解し、実践できるようになる。
4回目	スキンケア～2級ベースメイク復習 アイブロウの基本的な描き方を知り、実践できるようになる。
5回目	2級ベースメイク・アイブロウ復習 アイメイクの基本的な作り方を知り、実践できるようになる。
6回目	スキンケア～2級ベースメイク・アイブロウ・アイメイク復習 前回よりも美しくスムーズに仕上げることができるようになる。
7回目	スキンケア～2級ベースメイク・アイブロウ・アイメイク復習 リップの基本的な作り方を知り、実践できるようになる。
8回目	2級ベースメイク～ポイントメイク実技 ポイントメイクを美しく仕上げられるようになる。
9回目	JMA 2 級内容をスムーズに美しく仕上げることができるようになる。
10回目	ポイントメイク強化 ポイントメイクを美しく仕上げることができるようになる。
11回目	JMA2級内容を、決められた時間内でスムーズに美しく仕上げることができるようになる。(要モデル)
12回目	JMA2級内容を前回よりもスムーズに美しく仕上げることができるようになる。(要モデル)
13回目	JMA2級内容を50分以内で美しく仕上げることができるようになる。
14回目	JMA2級内容を50分以内で仕上げることができるようになる。
15回目	定期試験 (JMA 2 級検定兼ねる)
準備学習 時間外学習	3級内容の復習、時間外での練習も必要です。たくさん練習して、臨んでください。
評価方法	定期テスト(2級検定を兼ねる) 手順・手技が正しいか、仕上がりは美しいか、マナーはよいか、など総合的に評価します。検定試験は100点満点中80点以上合格です。
受講生への メッセージ	3級に続いての検定試験です。3級で習得したテクニックはもちろん、その上の知識・技術が必要になってきます。難しい課題ですが、練習すれば練習した分必ず上達します。自信を持って、取り組んでいきましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>メイク道具一式、JMA2・3級テキスト・消耗品など</p>	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	韓国語文化 Korean Language	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	金 有里
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 月曜3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
2017年からラジオ局LOVE FMにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げた。講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークなレッスンをモットーに韓国語講師として活動中。							
【到達目標】 ハングルを読めるようになる、自己紹介が出来る、簡単な会話ができる。							

授業計画・内容		
第1回	韓国語の仕組みと母音の勉強1	
第2回	子音の勉強1	
第3回	子音の勉強2	
第4回	母音の勉強2、パッチム	
第5回	ここまでのまとめ復習とK-pop ソング、数字の勉強	
第6回	漢数字を使った会話、体の部位	
第7回	数え数字の勉強	
第8回	曜日、月、年、時間など	
第9回	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学ぶ その1	
第10回	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学ぶ その2	
第11回	今までの総まとめのテストとk-popソング	
第12回	韓国語の航空アナウンスしてみよう	
第13回	自己紹介と自身の言いたい事をまとめて韓国語でいう練習 その1	
第14回	★評価週	自己紹介と自身の言いたい事をまとめて韓国語でいう練習 その2
第15回	★まとめ・追試/再試	発表と最後にK-popソング
準備学習 時間外学習		
評価方法	テストと参加態度	
受講生へのメッセージ	韓国語は日本語と文法が同じで発音がほぼ同じものもあるくらいスツと入ってきやすかったり、激むずだったり面白い外国語です！！口をよく動かします。発音だけ最初慣れるまで練習が必要ですので口の体操よくしといてください！！授業が進むと複雑になって混乱するときは、その都度細かい事も必ず質問してもらって、クリアにしてから次のステップに行きましょう！！とにかく肩の力を抜いてリラックスして楽しく授業していきましょう！！	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	小柳先生
	SPI	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	月曜日2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
*大学講師(共創学部、観光学科にて国家試験対策、公務員受験対策)、専門学校(人文科学全科目般、およびSPI、キャリアデザイン)講師の実務経験							
「SPI」は企業の採用試験で最も利用されているテストで、本授業は採用試験の名称を科目名にし、実践的な試験対策の授業として開講。言語分野では言語の意味や、話の要旨を的確にとらえる理解力を養い、具体的な解法を理解し覚える力をつける演習を行う。非言語分は、数的な処理、論理的思考力養うが、この分野は多くの学生が苦手意識を持つため概要と対策を丁寧に指導し、その上で、「正確・迅速」を目標に問題を繰り返し、得意な問題の発見、強化、不得意な問題の克服、さらにはケアレスミスの解消を図る。グループ演習も取り入れることで、お互いに苦手項目を補完しあえる、能動的な授業を行う。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・就職筆記試験における、適性検査(SPI)の重要性について高い意識を持つ。 ・SPI問題をある程度網羅し、「見たことがないのでできない」という初歩的な苦手意識を克服する。 ・「非言語分野」での出題頻度の高い問題の解法パターンを習得し、定着させる ・「言語分野」問題に数多く触れることで、語彙力、言語知識を学ぶ楽しさを養うとともに、自ら学ぶ意欲を持たせる。 							
授業計画・内容							
第1回	9/25 SPI試験の概要・重要性・対策・現状測定(基本的な計算の復習、SPI例として、表の見方)						
第2回	10/2【非言語分野】濃度、速さ・距離・時間+【言語分野】同意語・反意語①						
第3回	10/16【非言語分野】ものの値段と個数、定価・原価・利益+【言語分野】同意語・反意語②						
第4回	10/23【非言語分野】割合と値段+【言語分野】2語の関係①						
第5回	10/30【非言語分野】仕事算+【言語分野】文法②						
第6回	11/6【非言語分野】表・資料の読み取り+【言語分野】敬語						
第7回	11/13 第1回～第6回までの復習、小テスト						
第8回	11/20【非言語分野】確立のとらえ方+【言語分野】長文問題①						
第9回	11/27【非言語分野】集合、推論+【言語分野】長文問題②						
第10回	12/4【非言語分野】ブラックボックス①+【言語分野】まとめ1						
第11回	12/11【非言語分野】ブラックボックス②+【言語分野】頻出問題演習①						
第12回	12/18【非言語分野】論証+【言語分野】頻出問題演習②						
第13回	1/15【非言語分野】論証②+【言語分野】頻出問題演習③						
第14回	評価週 1/22 到達確認のための試験						
第15回	1/29 その他の分野、試験対策問題【演習】						
準備学習 時間外学習	時間の授業範囲を案内及び課題を提示、次回授業までの予習とする。						
評価方法	試験結果 70% 授業態度及び課題提出 30%						
受講生への メッセージ	<p>パワーポイントを映写し、講義・演習します。SPIは数学的知識を必要とする問題の比重が高くなります。まず、苦手だ、見るのも嫌だという意識を克服することを目標にしましょう。(特に非言語分野、数学)。</p> <p>解法の説明が平易で詳細な教材を利用するので、授業内容の復習や練習課題に自主的・積極的に取り組むことが大事です。また、得意不得意分野が個人で異なるので、友人同士教えあいながら、苦手項目を克服していきましょう。</p>						
【使用教科書・教材・参考書】							
ドリル式 SPI問題集(永岡書店)							

福岡ホテル・観光&ウェディング専門学校 2023年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	宇佐美 敏子
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	火曜日1時限・2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 前期で学んだことを復習し改めて実践していくことで自事と捉えることができ、就職活動の大変さ、大切さを理解してもらいます。 後期では実践あるのみで、実技をメインにおこないます 【実務経験】 保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)ノホテルにプランナーとして1年勤務ノ結婚式場立ち上げの為プランナーとして2年勤務 BLD WEDDINGS株式会社プランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる) 業界経験17年							
【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・自己PR、志望動機を作成することができる ・自身の現状を把握し職種、受験企業を決定する ・選考に関しての自身のウィークポイントを理解し対策を練ることができる ・履歴書、自己PR、志望動機を完成させ面接に臨むことができる 							

授業計画・内容	
9月26日	授業内容と目的について・成績評価説明・卒業生講話に向けての質問内容を考える
10月3日	卒業生講話(就職活動の為にやった事・学生の間(今のうち)にやっておいた方がよい事など)
10月10日	①志望動機、自己PRを作成し履歴書を完成させることができる
10月17日	②志望動機、自己PRを作成し履歴書を完成させることができる
10月24日	オンライン面接について理解することができる
10月31日	①対面面接の基礎知識(成功ポイント、NGポイント)について理解することができる
11月7日	②対面面接の基礎知識(成功ポイント、NGポイント)について理解することができる ※身だしなみチェック実施
11月14日	面接官の目線になり面接のポイントを理解することができる(面接練習含む)
11月21日	模擬面接
11月28日	模擬面接のフィードバックと振り返り
12月5日	SPI・一般常識問題について
12月12日	職業講話
1月16日	模擬面接について
1月23日	期末テスト
1月30日	フィードバック・就職活動に向けて
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト50%・模擬面接50%
受講生への メッセージ	いよいよ始まる就職活動！ 心折れずに内定をもらえるまでみんなで一緒に頑張ってください！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプロジェクト	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈 ・ 高増 千秋
	Bridal Project	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	水曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 中尾 茉奈:教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 高増 千秋:2017年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験							
【授業内容】 産学連携の取り組みを通して実務経験に近い環境を提供し、課題やプロジェクトに携わり、現実のビジネス環境でのスキルや知識を開発する機会を得ることができる授業を実施します。							
【到達目標】 SDGsの基本的な理念や目標を理解し、持続可能な開発への重要性を認識することができるようになる。 ビジネス活動においてSDGsを組み込む方法を学び、持続可能なビジネスモデルを理解することができるようになる。 企業様との取り組みの進捗を追跡し、成果を適切に報告するスキルを習得することができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容説明や到達目標の共有を通して、授業の目的を理解することができる。
第2回	新郎新婦様のプロフィール、お写真共有/撮影チームグループ分けを行う
第3回	福岡市内で前撮りができる場所のリサーチを行い、次週のロケハンに備えることができるようになる。 顔合わせ会場設営(10分程度)(中尾)ハンケット→チャペル ※広報が3限～チャペル使用しているため使用終了後設営?無理なら当日設営
第4回	各グループごとにロケハンを行い、撮影のイメージを作る
第5回	新郎新婦様へロケーションフォトのプランをプレゼンテーションするための準備
第6回	前撮り準備を行う①当日の進行方法、ディレクションの方法などを考える
第7回	前撮り準備を行う②改めてロケ地でできる撮影の方法などを考えなおし、絶対に必要なカットを整理する
第8回	1年生へこのショーの目的、到達目標(集客など)を共有し、各チームの特徴を伝える
第9回	1年生・2年生のチーム確定日:確定後のチームに分かれ、グループワークを行う
第10回	チームごとに進捗状況を共有し、広報担当・音響照明担当との打合せを行う
第11回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案① モデルオーディション実施
第12回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案②
第13回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案③
第14回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案④
第15回	最終調整・学内リハーサル
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、課題提出50%
受講生への メッセージ	他の学年と関わり合いながらのイベント運営は互いに学ぶことが多いです。全てを糧にして次の学年に進みましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	企業プロジェクト	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	黒岩 初美・中尾 茉奈
	Career Project	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 黒岩初美: プライダル業界26年間で、プライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。 その後プライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年 中尾茉奈: 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【授業内容】 前半: あ・うん企画様のご紹介により実際の新郎新婦様をお迎えし、前撮りを実施します 後半: まゆの会様との和装ショー実施の準備を行います							
【到達目標】 前半: 実際の新郎新婦様をお迎えして前撮りのロケーションフォトプランを考案・実施することを通し、お客様への接し方や提案方法をなどを学ぶことができるようになる。 後半: 企業様との産学連携活動を通して、職場に必要なスキルや能力を開発する力を養うことができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容説明や到達目標の共有を通して、授業の目的を理解することができる。
第2回	新郎新婦様の衣装が決定していたら写真の共有/各チーム候補ロケ地をピックアップ/ヒアリングシートの作成等
第3回	お顔合わせの進行は誰がどのようにするか? 場所は? どこに座っていただくか? を考え、プレゼンテーションに備えることができる
第4回	チームごとにロケ地選定/かかる費用を提出(自分たちの交通費含む)し、予算の申請を行うことができる
第5回	小物提案を考える/必要なら試作を行い、プレゼンテーションに備えることができる
第6回	新郎新婦様へロケーションフォトのプランをプレゼンテーションする(10月24日)
第7回	ロケーションフォトのプレゼンテーション結果を通知し、当日の役割を考えることができる
第8回	前撮り準備を行う①当日の進行方法、ディレクションの方法などを考える
第9回	前撮り準備を行う②改めてロケ地でできる撮影の方法などを考えなおし、絶対に必要なカットを整理する
第10回	前撮り準備を行う③持ち物・役割の確認等を行い、当日に備えることができる
第11回	前撮りを終えての振り返り①個人での振り返りレポート作成(課題提出点とする)/グループに分かれ、反省点や良かった点などを考えグループごとに発表を行い、次回もしくは就職後に活かすことができるようになる。
第12回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案①
第13回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案②
第14回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案③
第15回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案④
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、課題提出50%
受講生への メッセージ	実際の新郎新婦様をお迎えしての貴重な経験となります。1コマずつを大切に授業に臨んでください。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	イベント企画	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈
	Event Planning	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【授業内容】 産学連携の取り組みを通して実務経験に近い環境を提供し、課題やプロジェクトに取り組むことで、現実のビジネス環境でのスキルや知識を開発する機会を得ることができる授業を実施します。							
【到達目標】 SDGsの基本的な理念や目標を理解し、持続可能な開発への重要性を認識することができるようになる。 ビジネス活動においてSDGsを組み込む方法を学び、持続可能なビジネスモデルを理解することができるようになる。 企業様との取り組みの進捗を追跡し、成果を適切に報告するスキルを習得することができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容説明や到達目標の共有を通して、授業の目的を理解することができる。
第2回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:プロジェクト内容を共有し、目的とテーマとなる「SDGs」について理解することができるようになる。
第3回	あ・うん企画様との産学連携プロジェクト:前撮りの準備としてロケ地の選定を行い、実際にロケ地へ行く準備を完了させることができる。
第4回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:企業様への理解-「まゆの会」様の企業研究を行い、今までで行ってきたイベント等を知ることができるようになる。
第5回	あ・うん企画様との産学連携プロジェクト:10月24日(火)前撮りプランの提案日当日(提案までの準備は別授業にて実施)
第6回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 別授業にて決定したチームでおおまかなコンセプトを決定することができる
第7回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 1年生とチーム組閣をするにあたって効果的な方法や2年生の役割を考えることができるようになる
第8回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 チームごとに進捗状況を共有し、広報担当・音響照明担当との打合せを行う
第9回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案①
第10回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案②
第11回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案③
第12回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案④
第13回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案⑤
第14回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備を行う(最終調整)
第15回	まゆの会様との産学連携プロジェクト:和装ショーの準備を行う(最終調整)
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、課題提出50%
受講生への メッセージ	前期に実施したショーを経て、今度は大きな舞台でのイベントとなります。前回のショーでの反省や良かったことを糧に、2月のショーも成功させましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈
	Career Program	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	木曜3限・木曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。							
【授業内容】 1年半後に社会人となる学生に対し、キャリアプランを考案しつつ様々な労働に関する決まりごと・資産の管理について学びます。							
【到達目標】 将来のキャリア目標を設定し、それを達成するための計画を立てるスキルを習得することができるようになる。 財務管理や金融知識に関する知識を習得し、個人の財政を管理することができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容説明や到達目標の共有を通して、授業の目的を理解することができる。
第2回	年頭に記入したやりたいことリストを再度見返し、達成度を把握する。
第3回	キャリアプランニング: 将来のキャリア目標を設定し、それを達成するための計画を立てるスキルを習得することができるようになる。
第4回	マネー教育①予算立案と管理ができるようになる
第5回	マネー教育②金融機関や金融商品についての基本的な知識を習得することができるようになる。
第6回	マネー教育③投資の概念を理解し、リスクとリタイアメントプランニングを考慮に入れた資産形成の戦略を立てることができるようになる。
第7回	求人票に記載されている保険に関する知識を習得することができる。
第8回	インプロゲームを通して、グループで協力し、共同作業でのチームワークのスキルを発展させることができるようになる。
第9回	インプロゲームを通して、自分自身を表現し、自己主張する自信を高めることができるようになる。
第10回	グループ面接練習①
第11回	グループ面接練習②
第12回	一年の振り返り: 個人/グループで達成度を共有する。
第13回	新年にやりたいことを100個考え、記入することができる
第14回	エントリー企業の再整備/自身のキャリアプランを考えたい企業選びができているかを考えることができるようになる。
第15回	今後の目標設定
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、課題提出50%
受講生への メッセージ	社会人になるまでの過程並びに社会人になってから必要な知識を伝えていきます。残り1年半の学生生活、日々大切に生きていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
配布資料	

科目名 (英)	イベント企画	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	中尾 茉奈 ・ 高増 千秋
	Event Planning	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	水曜日3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 中尾 茉奈: 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 高増 千秋: 2017年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験							
【授業内容】 産学連携の取り組みを通して実務経験に近い環境を提供し、課題やプロジェクトに携わり、現実のビジネス環境でのスキルや知識を開発する機会を得ることができる授業を実施します。							
【到達目標】 SDGsの基本的な理念や目標を理解し、持続可能な開発への重要性を認識することができるようになる。 ビジネス活動においてSDGsを組み込む方法を学び、持続可能なビジネスモデルを理解することができるようになる。 企業様との取り組みの進捗を追跡し、成果を適切に報告するスキルを習得することができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	2年生と合同での授業開始日: アイスブレイクを行い、親交を深める
第2回	2年生によるショーの目的、到達目標(集客など)の発表を聞き、2年生が作成した各チームの特徴を知ることができる。
第3回	1年生・2年生のチーム確定日: 確定後のチームに分かれ、グループワークを行う①
第4回	1年生・2年生のチーム確定日: 確定後のチームに分かれ、グループワークを行う②
第5回	チームごとに進捗状況を共有し、広報担当・音響照明担当との打合せを行う①
第6回	チームごとに進捗状況を共有し、広報担当・音響照明担当との打合せを行う②
第7回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案① モデルオーディション実施
第8回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案② モデルオーディション実施
第9回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案③
第10回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案④
第11回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案⑤
第12回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案⑥
第13回	まゆの会様との産学連携プロジェクト: 和装ショーの準備 衣装作成/構成の考案⑦
第14回	最終調整・学内リハーサル①
第15回	最終調整・学内リハーサル②
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、課題提出50%
受講生への メッセージ	他の学年と関わり合いながらのイベント運営は互いに学ぶことが多いです。全てを糧にして次の学年に進みましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	カメラワーク・テクニック camera work & technique	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中村 允宣・中尾 茉奈
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 水曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【中村 允宣】 2014年映像制作会社に入社。それをきっかけに写真を学ぶ。2018年より092photo.comの代表に就任。2021年に092photoを譲渡され自身の会社となる。 2024年2月に092photoとは別事業であるライダル事業を始める。前撮り専門サロンとして「ROLL7WEDDING」を設立。 今は東京、大阪、福岡を拠点に写真、映像業とライダル業を営んでいる。</p> <p>【中尾 茉奈】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて約10年模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランドの展示会、ストックフォト等にモデルとして携わった。</p>							
【到達目標】 実際に写真撮影の実施やプロのカメラマンとの実践を通して、フォトウェディングについて知ることが出来るようになる							

授業計画・内容	
第1回	授業内容の説明・到達目標の設定
第2回	テーマ「自分の好きなもの」雑誌や画像の切り抜きを活用し、テーマに沿った作品を作ることが出来る。
第3回	相モデルになり互いの写真を撮る①学内での撮影場所、撮影の方法などを考えて撮影の計画を立てることが出来るようになる。
第4回	相モデルになり互いの写真を撮る②学内で撮影実施 スマートフォン使用
第5回	相モデルになり互いの写真を撮る③撮影した写真の簡単なレタッチができるようになる
第6回	フォトウェディング①フォトウェディングの進行方法について知ることが出来る。3人グループをつくる
第7回	フォトウェディング②グループ内で撮影指示書を3種類作成する
第8回	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門授業を通じてフォトウェディングというものを理解し説明することができるようになる。
第9回	フォトウェディング業とは何か。フォトウェディングに大切なこと、接客に必要なことを理解し説明ができるようになる。
第10回	フォトウェディング業に必要な写真のスキル、撮り方、ポイントを理解し説明ができるようになる。好きな写真を次回までに撮影してきてもらう。
第11回	実際に撮った写真のプレゼン、説明をしてディスカッションを行う。別教室を使用し実際に撮影を行う。撮影に対して理解し説明することができるようになる。
第12回	フォトウェディング業に必要なことと写真の撮り方の復習。しっかりとこの二つを理解でき説明ができるようになる。
第13回	フォトウェディング③グループ内で撮影指示書を作成し、実際に指示書に沿って撮影をする
第14回	★評価週 フォトウェディング④作成した撮影指示書に沿って撮影をする
第15回	★まとめ・追試/再試 作品発表会
準備学習 時間外学習	スマートフォン 弊社サロンへの来店見学など口
評価方法	出席率50%、作品完成度50%
受講生へのメッセージ	初めまして。私が今回講義をさせていただく事となりました、中村です。本講義を通じてフォトウェディングとは何か、写真の撮り方などについて理解して頂き本講義を通じて一人でも多くの方にフォトウェディング業へ興味を持って頂きたいと思っております。将来、一人でも多くの方がこの道へ進みたいと思ってくれるような講義をさせて頂ければ幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal Fair Planning	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	黒岩 初美・中尾 茉奈
学科・コース	ブライダルプランナーコース/ドレススタイリスト& ビューティーコース/ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜2限・3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 黒岩初美:ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年 中尾茉奈:教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【授業内容】 ブライダル業界の人材に求められる企画力を伸ばす授業を実際のイベント企画立案を通して行います。							
【到達目標】 様々なイベントを計画的に準備し、実践に移すことができる。 イベントを実施するにあたり、チームワークを重視して主体的に行動できるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の流れを説明し、理解することができる。4月25日のイベントに向け、企画立案・役割決め・準備をすることができる。
第2回	イベント①新入生歓迎会 準備～撤収・原状復帰までを時間内に行うことができる。
第3回	ドレスショップ店舗見学 / 自身の就職活動の一環として店舗見学の振り返りを行うことができる。 / 新入生歓迎会の振り返りを行い、次回のイベント企画に活かしたいことを考える。
第4回	ブライダルフェアの意味・意図を考え理解し説明できる。 / ブライダルフェアの集客方法を考え理解し説明ができる
第5回	模擬ブライダルフェアのチームを、ABC3チームのグループで考え理解し説明ができる
第6回	模擬ブライダルフェアのスケジュールの立案を理解し説明ができる
第7回	模擬ブライダルフェアの企画を各チームにて考え理解し説明ができる
第8回	模擬ブライダルフェアをコラージュ作成で見える化の実現を考え理解し説明ができる
第9回	模擬ブライダルフェアの企画を各チームごとにプレゼンする(全員で評価)
第10回	I) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成を仕上げ理解し説明できる
第11回	II) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成を仕上げ理解し説明できる
第12回	III) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成仕上げ理解し説明できる
第13回	IV) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成仕上げ理解し説明できる
第14回	1年生の模擬人前式に参加し、理論的に評価をすることができる。
第15回	授業の振り返り / イベント準備
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ホテル・観光&ウェディング専門学校 2023年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	宇佐美 敏子
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】							
【実務経験】 保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)ノホテルにプランナーとして1年勤務ノ結婚式場立ち上げの為プランナーとして2年勤務 BLD WEDDINGS株式会社プランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる) 現在は講師業、コンサル業、新規接客、担当婚礼などブライダル業界に携わる 業界経験17年							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションができるようになる ・自己PR、志望動機をかけるようになる ・就職活動を行う時のマナーが身につく ・志望動機、自己PRがかけられるようになる ・グループディスカッションを実践することができるようになる 							

授業計画・内容		
第1回	オリエンテーション(授業内容と目的について・成績評価説明・他己紹介)	
第2回	企業見学へ行くためのマナーについて学ぶことができる(就職活動に関するアンケート実施)	
第3回	企業見学で感じたことなどをまとめ、次回にどのように活かす事ができるかを学ぶことができる	
第4回	就職活動を行う時のマナーを身につける事ができなせそれが必要なのかを理解し実践できるようになる(身だしなみについてなど)	
第5回	企業研究のやり方を理解でき就きたい業界を定める事ができる	
第6回	履歴書の書き方を理解することができる	
第7回	履歴書を書くことができるようになる	
第8回	何故面接対策が必要なのかという事を理解できる/なぜなぜ分析をする	
第9回	自己PR・志望動機について書くことができるようになる	
第10回	グループディスカッションの出題テーマの傾向、流れ、仕組みを理解することができる	
第11回	グループディスカッションを実践することができる	
第12回	①グループディスカッション	
第13回	②グループディスカッション	
第14回	★評価週	期末テスト:グループディスカッション
第15回	★まとめ・追試/再試	期末テスト:グループディスカッション
準備学習 時間外学習	マイナビ・リクナビのアプリを事前にダウンロードしておいてください	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験70% ・提出物30% 	
受講生への メッセージ	3年生の年末に自己PRや志望動機考えていたいですか？ 卒業式の時まで考えていたいですか？ みんな一緒に笑って卒業するために、今、この瞬間から就職活動を頑張り、 3年生夏休みの間までに内定をもらい、学生最後の長期休暇(冬休み)を心おきなく楽しみましょう♪	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルマネジメント	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田中 香利
	Bridal system	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科ブライダルプランナーコース				2	曜日・時限	火曜2限・3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。</p>							
【到達目標】 数字を使いこなす : 頭のイメージを言語化→数値化→具体化→伝達化 できる							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 社会における数字の世界概要
第2回	目標達成を数値化する方法1 : 目標設定 : 頭の中のイメージを数字で表現するスキルを身につけることができる
第3回	目標達成を数値化する方法2 : アンカリング効果 : 顧客が反応するポイントを把握するスキルを身につけることができる
第4回	目標達成を数値化する方法3 : サムシングニューの数字設定 : マインドスキルアップに伴い効果的なセールストークスキルを身につけることができる
第5回	言語化のポイントは数字で表現する1 : 思考のものさし : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第6回	言語化のポイントは数字で表現する2 : 理解言葉と使用言葉 : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第7回	言語化のポイントは数字で表現する3 : 具体化 : 頭の中のイメージの言語を数字で具体化するスキルを身につけることができる
第8回	言語化のポイントは数字で表現する4 : プロフィールを数字で作成 : セールス時の説得力を身につけることができる
第9回	言語化のポイントは数字で表現する5 : アウトプット: 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第10回	言語化のポイントは数字で表現する6 : アウトプット: 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第11回	数字を引用したセールストーク1: 或る会社の商品(ブライダル業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いをデジタル化したトークスキルを身につけることができる
第12回	数字を引用したセールストーク2: 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いをデジタル化したトークスキルを身につけることができる
第13回	数字を引用したセールストーク3: 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いをデジタル化したトークスキルを身につけることができる
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用
受講生への メッセージ	残り少ない学生期間で、数字の深掘りをし、アウトプットし伝達する力を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

科目名 (英)	ブライダルマネジメント	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田中 香利
	Bridal marketing	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	月曜3限・4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。</p>							
【到達目標】 ブライダル業界及びサービス業における、売り上げ・原価・利益を把握し、様々な業種の数字の成り立ちを理解することができる							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション ブライダル業務の数字の概要
第2回	ブライダル業界の料金表を作成し、商品ごとの単価を理解することができる
第3回	ブライダル業界の商品売価・原価・利益を作成し、商品ごとの利益率を理解することができる
第4回	テーマを決定し、プラン見積表を作成する。テーマごとの売価・原価・利益率の違いを理解することができる 1
第5回	テーマを決定し、プラン見積表を作成する。テーマごとの売価・原価・利益率の違いを理解することができる 2
第6回	テーマウェディングのPOP作成。集客に必要な要素を理解し、応用することができる。
第7回	サービス業界の例：課題設定：料金表作成 他業種の数字を把握することにより、原価や利益の違いを理解することができる 1
第8回	サービス業界の例：課題設定：料金表作成 他業種の数字を把握することにより、原価や利益の違いを理解することができる 2
第9回	集客POPと販売POPの作成 数字を画像で表現するスキルを身につけることができる 1
第10回	集客POPと販売POPの作成 数字を画像で表現するスキルを身につけることができる 2
第11回	数字の福袋作成：様々な商品を組み合わせ、販売価格の設定と原価・利益を検証・分析 販売力の強い商品のアピールポイントを把握することができる
第12回	数字のモデルルーム作成：夢を憧れを数値化する 販売価格の設定と原価・利益を検証・分析 販売力の強い商品のアピールポイントを把握することができる
第13回	販売用POP作成 プレゼンテーションスキルを身につけることができる
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用
受講生への メッセージ	数字に対してのアレルギーを払拭し、数字に強くなりましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	選択必修	年次	2・3	担当教員	増田 鉄平
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期・後期 水曜日4時限
【実務経験】 大学在学中にインターンシップにてホテルバーの世界へ。その後ホテルバーにて研鑽を積みバーテンダー業界では25年余りとなる中、現在も老舗バーにて九州代表としてカクテルコンペティションへ出場し数々入賞する。							
【授業の学習内容】 ウイスキー・スピリッツ・リキュールやその他日本酒・焼酎などの國酒のお酒を幅広く世界各国知識として学ぶこと、サービスの在り方やカクテル作成などを実習を通して学んでいく。							
【到達目標】 バーでの作法や総合飲料取扱者として、提供の仕方や接客方法を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方、授業内容の把握と目標設定。
2回目	【座学】BAR・カクテルについて 【実技】バーテンダーの姿勢、お酒やボトルの扱い方、副材料、氷、グラス、バーツール 等
3回目	【座学】お酒の基礎知識① 【実技】ステア&ビルド 課題 ハイボール、水割り、お湯割 ノンアルコールロングカクテルを作る
4回目	【座学】お酒の基礎知識② 【実技】シェイク 課題 ノンアルコールショートカクテルを作る
5回目	【座学】BAR接客について 【実技】接客(来店時、会話、オーダー、メイク、提供、お会計、退店時)& 課題カクテルを作る
6回目	中間テスト対策：バーテンダーとお客さまのグループに分かれて実際BARサービスを想定しトレーニング
7回目	中間テスト：実技 課題カクテル1杯（ノンアルコールフィズ）※接客あり&筆記あり
8回目	中間テストの課題を克服
9回目	【座学】ニューウェーブカクテルについて(海外のBAR・ミクスロジー・モクテル) 【実技】スローイング
10回目	【座学】モクテルの作り方① 【実技】創作モクテルロング
11回目	【座学】モクテルの作り方② 【実技】創作モクテルショート
12回目	【座学】原価計算の考え方を学ぶことができる 【実技】オリジナルカクテルメニュー制作
13回目	期末試験対策(接客とゲストに分かれて実際のバーサービスを想定)
14回目	★期末試験 評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業に対する教材以外でも出来ることならばどんどんやってみましょう。
評価方法	●期末テスト：オリジナル創作 モクテル1種(ロング・ショート) 課題 1杯(ロング・ショート) 計2杯(予定) ● 授業態度・身だしなみ 等
受講生への メッセージ	・飲食業以外でも分からないことなどあれば、気軽に質問してください。少しでも皆様のプラスになるようにして、充実し時間が過ぎていければと考えております。
【使用教科書・教材・参考書】 HBA/バーテンダーズマニュアル	

科目名 (英)	TOEIC対策 TOEIC measures	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	木下 かな
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】 TOEICとは何なのか、またTOEICの点数アップと共に接客でも会話ができるレベルへサポートする。</p> <p>※実務経験：日本航空株式会社に客室乗務員として1年2か月乗務。 株式会社東芝トレーディングにて貿易事務として2年2か月勤務。 株式会社Plan・Do・Seeにてウェディングプランナーとして3年4か月勤務(海外国籍のお客様の担当経験有)</p>							
<p>【到達目標】 500点越えができる。 既に受験したことがある学生は点数アップできる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	TOEICとはどんなものかを知り、どのような対策を立てたらよいかを自ら考えることができるようになる。
2回目	中学校、高校の英語を使って英語で対話ができるようになる。
3回目	TOEICの問題を解き、現在の対策を自身で考えることができる。
4回目	Part5の特徴を今一度学び、問題を解き慣れるとともに、文法(品詞)の視点で考えることができるようになる。
5回目	Part5の特徴を今一度学び、問題を解き慣れるとともに、文法(時制)の視点で考えることができるようになる。
6回目	Part.6の特徴を今一度学び、問題を解きながら文脈を読み解くことができるようになる。
7回目	Part.7の特徴を今一度学び、問題を解きながら文章ジャンルを把握しフレーズやボキャブラリーなど対策ができるようになる。
8回目	Part5～7の確認テストを解き、今一度どこに力をいれると点数アップにつながるかを対策を考えることができる。
9回目	Part1の問題を解き、描写から設問を予測できるようになる。
10回目	Part2の問題を解き、会話の流れを把握できるようになる。
11回目	Part3の問題を解き、複数人の会話も聞き取れるようになる。
12回目	Part4の問題を解き、長文のヒアリング力を高め、必要な部分を抜けるようになる。
13回目	Part1～4の確認テストを解き、自身で弱点対策を練ることができる。
14回目	★評価週 復習・試験(筆記)
15回目	★まとめ・追試/再試 総復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	英語は好きですか？ ただTOEICの為に英語を学習するのではなく、実際に聞いて使えるように楽しく学習できるサポートをしていきたいと思ひます。 折角学習するのであれば楽しく、身になるものにしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
公式TOEIC Listening&Reading問題集10	

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	馬渡 泰子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 木曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となるよう、お客様の大切なお着物の扱い方、接客において着物に関する知識を身に付けることが出来る。 【実務経験】ホテル勤務11年中、7年の営業部婚礼課所属。新規セールス1年、ウエディングプランナーとして6年で約480組の婚礼のプランニング。 専門学校5年勤務にて、ブライダルコースの座学(ブライダルコーディネーター技能検定3級対策)、実技を担当。 2021年より長沼静着物学院にて着付けを学び2023年10月着付師1級合格。2024年1月の成人式にて着付師デビュー。 現在は毎週末、ザ・ストリングス博多(旧ハカタギグランヒューリ)の挙式アテンダーをしている。							
【到達目標】 日本の伝統文化について教養を身につけるとともに、着物の扱い方や、自装と他装の基礎を身に着ける。							

授業計画・内容		
1回目	〈座学〉着物について/貸衣装スタッフ、着付師について	
2回目	〈座学〉着物の歴史	
3回目	〈座学〉着物の種類	
4回目	〈座学〉着物の名称 〈実技〉たたみ方を学ぶ	
5回目	〈座学〉帯の種類 〈実技〉たたみ方を実践	
6回目	〈座学〉着物に合わせる小物 〈実技〉長襦袢を着る	
7回目	〈座学〉着物の格式 〈実技〉長襦袢を着せる	
8回目	〈座学〉TPOと季節 〈実技〉浴衣の自装	
9回目	〈座学〉紋と模様について 〈実技〉浴衣の自装	
10回目	〈座学〉染めと織り・着物の産地 〈実技〉浴衣の他装	
11回目	〈座学〉着物のマナー・着崩れの対処 〈実技〉浴衣の他装	
12回目	自装実技チェック	
13回目	他装実技チェック	
14回目	★評価週	【定期試験】筆記(座学の内容から出題)
15回目	まとめ	まとめと振り返り
準備学習 時間外学習	・配布プリントとノートを持参すること ・各自復習をしておくこと	
評価方法	自装・他装実技チェック(20点)、筆記試験(80点) 合計100点満点で評価	
受講生へのメッセージ	着物を通して日本の伝統文化を学びましょう。着物の種類や模様等様々な込められている日本人の精神文化を知り、お客様へ着物をおすすめする際や、着付けをする際にも先人たちから受け継いだ想いをお伝えできるプロのスタッフになってください。訪日外国人もこれからますます増えてきます。グローバルに活躍される方は特に、自国の文化を発信できるよう学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 きもの教本 I (長沼静きもの学院)参考		

科目名 (英)	和装知識 Kimono knowledge	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	馬渡 泰子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 ドレススタイリスト&ビューティコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 木曜3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となるよう、お客様の大切なお着物の扱い方、接客において着物に関する知識を身に付けることが出来る。 【実務経験】ホテル勤務11年中、7年の営業部婚礼課所属。新規セールス1年、ウエディングプランナーとして6年で約480組の婚礼のプランニング。 専門学校5年勤務にて、ブライダルコースの座学(ブライダルコーディネーター技能検定3級対策)、実技を担当。 2021年より長沼静着学院にて着付けを学び2023年10月着付師1級合格。2024年1月の成人式にて着付師デビュー。 現在は毎週末、ザ・ストリングス博多(旧ハカタギグランヒューリ)の挙式アテンダーをしている。							
【到達目標】 日本の伝統文化について教養を身につけるとともに、着物の扱い方や、自装と他装の基礎を身に着ける。							

授業計画・内容		
1回目	〈座学〉着物について/貸衣装スタッフ、着付師について	
2回目	〈座学〉着物の歴史	
3回目	〈座学〉着物の種類	
4回目	〈座学〉着物の名称 〈実技〉たたみ方を学ぶ	
5回目	〈座学〉帯の種類 〈実技〉たたみ方を実践	
6回目	〈座学〉着物に合わせる小物 〈実技〉長襦袢を着る	
7回目	〈座学〉着物の格式 〈実技〉長襦袢を着せる	
8回目	〈座学〉TPOと季節 〈実技〉浴衣の自装	
9回目	〈座学〉紋と模様について 〈実技〉浴衣の自装	
10回目	〈座学〉染めと織り・着物の産地 〈実技〉浴衣の他装	
11回目	〈座学〉着物のマナー・着崩れの対処 〈実技〉浴衣の他装	
12回目	自装実技チェック	
13回目	他装実技チェック	
14回目	★評価週	【定期試験】筆記(座学の内容から出題)
15回目	まとめ	まとめと振り返り
準備学習 時間外学習	・配布プリントとノートを持参すること ・各自復習をしておくこと	
評価方法	自装・他装実技チェック(20点)、筆記試験(80点) 合計100点満点で評価	
受講生へのメッセージ	着物を通して日本の伝統文化を学びましょう。着物の種類や模様等様々な込められている日本人の精神文化を知り、お客様へ着物をおすすめする際や、着付けをする際にも先人たちから受け継いだ想いをお伝えできるプロのスタッフになってください。 訪日外国人もこれからますます増えてきます。グローバルに活躍される方は特に、自国の文化を発信できるよう学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 きもの教本 I (長沼静きもの学院)参考		

科目名 (英)	ネイル演習 Nail Exercise	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	坂本 結佳子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロンワークやブライダルネイル、新人研修などの経験があるネイリストが15回の授業を通して基礎的なネイルケア、ポリッシュやジェルネイルの扱い方を学ぶ。ブライダルプランナーとしてのネイルデザインのカウンセリングの為の知識を得る事ができる。ブライダルネイルにも使えるデザインのチップを作成し、撮影、コラージュ作成をする。							
※実務経験 5年間にわたり株式会社BRONZE EYEにてネイリストとして勤務。その中でブライダルネイルの施術にも携わる。 その他新人研修にも携わり基礎知識や接客、カウンセリングなどを指導。現在は自宅ネイルサロンを開業。(現在5年目)							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルケアの基礎的な知識と技術を習得する ・ブライダルネイルのデザインを学ぶ 							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介、爪の名称、ブライダルネイルについて、商材説明、シラバス説明
第2回	ネイルケアからポリッシュの仕方説明、自分の爪に実践
第3回	ネイルケアからポリッシュまで相モデルに実践
第4回	ネイルケアからポリッシュまで相モデルに実践
第5回	ネイルチップデザイン決め、ジェルネイル説明
第6回	ネイルチップ作成
第7回	ネイルチップ作成
第8回	ネイルチップ作成
第9回	ネイルチップ作成
第10回	ネイルチップ作成
第11回	ネイルチップ作成
第12回	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成
第13回	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成
第14回	★評価週・コラージュ作成予備
第15回	★まとめ・コラージュ作成予備
準備学習 時間外学習	授業で学んだことは授業外でも実践してみましょう。 苦手なことができたならそのままにせずメモなどをして次の授業で消化できるようにしておくことが望ましいです。 最後にブライダルネイルチップ撮影をします。それまでにドレス、ブーケ、ネイル、背景などを考えておいてください。
評価方法	ネイルチップ制作、コラージュ作成 授業出席率、授業態度
受講生へのメッセージ	ジェルネイルチップを作成する授業です。 将来ブライダルに関わるお仕事をする際にブライダルネイルデザインのご提案の仕方やカウンセリング力を身につけて新郎新婦様のお役に立つことができます。
【使用教科書・教材・参考書】	
・コットン・キッチンペーパー・エメリーボード×人数・ウッドスティック×人数・ブルークロス×1・ポリッシュリムーバー×1L1個 ・からポリッシュボトル×人数・からディスペンサー×人数・ポリッシュトップ×人数・ポリッシュベース×人数・ジェル筆×人数 ・イト×人数・ネイルチップクリア×人数・ネイルチップを作るための材料	

科目名 (英)	トレンド知識	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	久保 康代
	Trend Knowledge	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	金曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験 福岡のプライダルヘアメイク事務所「チエカチエカ」にてプライダリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネーターやファッションコーディネーターの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。</p>							
【到達目標】							
ファッション、ブランド、トレンドの基礎を学び、自身のファッションコーディネーターに取り入れることが出来るようになる							
授業計画・内容							
第1回	ファッションとは。を学び、自分の今現在好きなファッションを分析することが出来る						
第2回	ハイブランド～ファストブランドの位置付け、ブランド勢力図について説明出来るようになる						
第3回	ブランドの歴史について学び、説明が出来るようになる						
第4回	トレンドカラー2023AW～2024SS、2024テーマカラーについて説明出来るようになる						
第5回	各ブランドのトレンドカラーやデザインを分析し、発表することができる①						
第6回	"②						
第7回	2024メットガラについて説明出来るようになる						
第8回	映画鑑賞①						
第9回	映画鑑賞②						
第10回	映画鑑賞③						
第11回	年代別メンズに人気傾向のブランド、ショップをリサーチし、説明出来るようになる						
第12回	メンズに人気傾向のスキンケアブランド、ラインをリサーチし、説明出来るようになる						
第13回	期末試験準備						
第14回	評価週						
第15回	まとめ、振り返り						
準備学習 時間外学習							
評価方法	評価週レポート提出80% 平常点20%						
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。 ブランドの歴史やトレンド、メンズ美容について楽しく学んでいきましょう。 宜しくお願い致します！						
【使用教科書・教材・参考書】							
プリント配布							

科目名 (英)	ブライダルアイテム	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	久保 康代
	Bridal items	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	金曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チエカチエカ」にてブライダルスタイリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネーターやファッションコーディネーターの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。</p>							
【到達目標】							
ディスプレイ、VMDの基礎を学び、ドレス実習室のショーケース内を飾ることが出来るようになる							
授業計画・内容							
第1回	ディスプレイ、VMDについて説明出来るようになる						
第2回	装飾在庫を確認し、スモールサイズのディスプレイが出来ようになる①						
第3回	"②						
第4回	グループワーク ショーケースディスプレイ①企画						
第5回	"②設置						
第6回	"③FB						
第7回	2024SS、AWトレンドインテリア、プロダクトについて説明出来るようになる						
第8回	実在するショッピングインテリア、トレンドをリサーチし、説明出来るようになる①						
第9回	"②発表						
第10回	グループワーク ショーケースディスプレイ①						
第11回	グループワーク ディスプレイ②						
第12回	グループワーク ディスプレイ③						
第13回	期末試験準備						
第14回	評価週						
第15回	まとめ、振り返り						
準備学習 時間外学習							
評価方法	評価週レポート提出80% 平常点20%						
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。 VMD、プロダクトのトレンドを学び、実践していきましょう。 宜しくお願い致します！						
【使用教科書・教材・参考書】							
プリント配布							

科目名 (英)	ブライダルアイテム	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	久保 康代
	Bridal items	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	木曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チエカチエカ」にてブライダルスタイリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネーターやファッションコーディネーターの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・大空間でのディスプレイを成功させる ・その人それぞれに最も似合う色、素材、テイストが何なのかを深く学び、自分自身にも、他の方にもコーディネートで活かせるようになる ・オーダードレスショップ形態を知り、知識を深める ・お手入れ方法を学び、ドレス実習室の衣装・小物のお手入れが出来るようになる 							
授業計画・内容							
第1回	ディスプレイ、VMDについて復習し、提案が出来るようになる						
第2回	ディスプレイ打ち合わせ①						
第3回	"②配置確認						
第4回	"③設置						
第5回	ディスプレイFB/パーソナルカラーを復習し、深く説明することが出来る						
第6回	骨格診断を復習し、深く説明することが出来る						
第7回	自分に似合うオフィスカジュアルコーディネートが出来るようになる						
第8回	ディスプレイ①						
第9回	ディスプレイ②						
第10回	ディスプレイ③						
第11回	ドレスショップの種類について説明出来るようになる						
第12回	ココロメロディ様ショップ訪問						
第13回	衣装のサイズ展開を学び、説明出来るようになる						
第14回	評価週						
第15回	スチーム、アイロンがけ、靴磨きの方法を学び、ドレス実習室の在庫のお手入れが出来るようになる						
準備学習 時間外学習							
評価方法	評価週課題レポート80% 平常点20%						
受講生への メッセージ	今期は初めて9階バンケットのディスプレイに挑戦します。 基礎をしっかり復習し、チームワークを大切にしながら取り組みましょう！						
プリント配布							

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。</p> <p>※実務経験 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・学生生活を送るうえで、スケジュールや健康管理を自分自身で行うことができ、気持ちよく学生生活を送ることができる。 ・クラスメイトとともに、業界や問題解決について情報交換をすることでチームワークを育むことができる。 							

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション(学校生活について・クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など)
第2回	生活習慣改善教育①、Hand-Book of Life(日常生活編)、学生便覧再確認
第3回	生活習慣改善教育②、Hand-Book of Life(日常生活編)、GW前インフォメーション
第4回	生活習慣改善教育③、Hand-Book of Life(日常生活編)、GWの振り返り
第5回	生活習慣改善教育④、Hand-Book of Life(学校生活編)
第6回	生活習慣改善教育⑤、Hand-Book of Life(学校生活編)
第7回	マネー教育
第8回	学園祭について(次年度自分たちが行う立場を意識して)
第9回	学園祭振り返り(個人ワーク・グループワーク)
第10回	校外学習
第11回	校外学習
第12回	業界学習
第13回	業界学習、夏季休暇前インフォメーション(夏季休暇の過ごし方・課題・補講など)
第14回	夏季休暇振り返り、今後のスケジュールについて(補講・特別講義など)
第15回	前期振り返り
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出 100%
受講生へのメッセージ	<p>学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができるよう本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張ってください。</p> <p>まずは学校内外で円滑にコミュニケーションが取れるようになりましょう。</p> <p>※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布 Hand-Book of Life	

科目名 (英)	業界理解 Career program	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスメイトと協力をしながらイベントや業界について学び取り組んでいきます。また業界についての知識も身に付けて自分の将来についてよりイメージできるようにします。							
※実務経験 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・体調やスケジュールの自己管理を行い、学校生活を送ることができる。 ・クラス全員が話し合いに参加して、イベントやグループワークで発言をすることができる。 ・自分が目指す業界について基礎知識を身に付けることができる。 							

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション(後期のスケジュール、クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など)
第2回	Hand-Book of Life(社会生活編)、グループワーク
第3回	Hand-Book of Life(日常生活編)、イベントに向けて
第4回	イベントに向けて
第5回	イベントに向けて
第6回	イベントに向けて
第7回	校外学習
第8回	業界学習、Hand-Book of Life(プロの職業人を目指すにあたって)
第9回	業界学習、Hand-Book of Life(プロの職業人を目指すにあたって)
第10回	業界学習、Hand-Book of Life(プロの職業人を目指すにあたって)
第11回	業界学習
第12回	冬季休暇前インフォメーション(冬季休暇の過ごし方・課題・補講など)
第13回	冬季休暇振り返り、今後のスケジュールについて
第14回	後期の振り返り、グループワーク
第15回	今年度の振り返り、2年生に向けて
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出 100%
受講生への メッセージ	<p>学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができるよう本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。</p> <p>様々なイベントを通してより楽しい学校生活をともに送りたいです。</p> <p>※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布 Hand-Book of Life	

科目名 (英)	コミュニケーション講座 Communication	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>社会人として必要なコミュニケーション力を身に着け、実際に学生生活、就職活動、社会生活で実践できるようにします。 またコミュニケーションスキルアップ検定全員合格を目指して学んでいきます。</p> <p>※実務経験 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルを身に着け、実践できるようになる。 ・コミュニケーションスキルアップ検定に合格することができる。 							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション(自己紹介)
第2回	第1章 コミュニケーションとは(コミュニケーションの定義、3領域、種類)
第3回	第2章 基本的対話スキル(話す)
第4回	第2章 基本的対話スキル(聴く)
第5回	第2章 基本的対話スキル(グループでの会話)
第6回	第1章・第2章のまとめ、ロールプレイング
第7回	第3章 自己表現スキル(挨拶、自己紹介)
第8回	第3章 自己表現スキル(言葉のかけ方、上手な頼み方、上手な断り方、自己主張)
第9回	第3章 自己表現スキル(報連相、会議、ミーティング)
第10回	第3章 自己表現スキル(アンガーマネジメント)
第11回	業界学習
第12回	第4章 社会的スキル(対人行動、文書作成)
第13回	第3章・第4章のまとめ、検定対策
第14回	コミュニケーションスキルアップ検定 実施
第15回	検定振り返り・授業のまとめ
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を実際の生活の中で実践する。
評価方法	検定試験 100%
受講生への メッセージ	<p>コミュニケーションスキルは学生生活の中でも、社会においても必要です。一つ一つの内容を理解して、実際に実践しながら学んでいきましょう。 そして社会に出たときに最高のおもてなしができるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
コミュニケーションスキルアップ検定テキスト(JESC)	

科目名 (英)	ホスピタリティビジネス講座 Associate Hospitality Coordinator	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。							
実施内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。							
※実務経験: 藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。							
【到達目標】							
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。							
②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。							
③学んだことを活かし、日常生活においてもホスピタリティマインドをもって行動することができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、講義の説明、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータについて
第2回	第1章 日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性
第3回	第2章 ホスピタリティの歴史と文化
第4回	第3章 サービスとホスピタリティの語源
第5回	第4章 ホスピタリティの定義
第6回	第5章 ホスピタリティの5領域
第7回	第6章 組織と顧客のホスピタリティ
第8回	第7章 組織と社員(従業員)のホスピタリティ
第9回	第8章 ホスピタリティの実践
第10回	第9章 各産業におけるホスピタリティの実践
第11回	業界学習
第12回	課題作成
第13回	課題作成
第14回	レポート提出
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に着けるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つこと」を意識することが重要です。また、様々な感動体験や自身の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」…締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポート作成にあたって、作成方法については細かいルールがありますので、講義の中で説明をします。理解したうえで作成すること。
受講生へのメッセージ	ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動活かしていきましょう。また、クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有することも大切だと思います。自分が経験した感動体験を次は実践できるように一緒に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会 その他内容に応じてプリント等配布。	

科目名 (英)	セルフスタイリング Self styling	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、プライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】 メイクの必要性を理解し、技術者としての心構えを持てるようになる。モデルに似合ったフルメイクを施せるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	メイクの必要性、道具の使い方を理解し、技術者の心構えを持てるようになる。
第2回	自分の顔(顔型・パーツバランス・プロポーションなど)を分析できるようになる。
第3回	自分の顔(カラーバランスなど)を分析できるようになる。
第4回	基本的なベースメイクの作り方を知り、実践できるようになる(セルフメイク)
第5回	基本的なアイブロウの描き方を知り、実践できるようになる(セルフメイク)
第6回	基本的なアイメイクの方法を知り、実践できるようになる(セルフメイク)
第7回	基本的なリップ、チーク、ハイライト、ローライトの入れ方を知り、実践できるようになる(セルフメイク)
第8回	中間テスト 自分に似合うフルメイクを完成できるようになる。
第9回	相モデルでキュートなイメージでメイクを上げることができるようになる。
第10回	相モデルでクールなイメージでメイクを上げることができるようになる。
第11回	業界学習
第12回	相モデルでTPOに合わせたメイクを上げることができるようになる。
第13回	モデルに似合うイメージを考え、メイクを上げることができるようになる。
第14回	定期テスト モデルに似合うメイクを施す
第15回	苦手部分の克服 克服できるようになる。
準備学習 時間外学習	興味を持って、想像しながら、楽しんで臨むこと。
評価方法	中間テスト、定期テスト 総合的に評価します。 基本的なテクニックや、分析力、似合わせのテクニックなどを審査します。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。人の顔は一人一人違います。まずは、顔をよく分析してみましょう。気づきや発見があると、大きな知識となって吸収されると思いますので、興味を持って、楽しんで参加してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
メイク道具一式、筆記用具、消耗品など	

科目名 (英)	タブレット演習 & ITリテラシー Computer exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録のスタジオを経営。 経営に係る業務の傍ら、経理事務・デザイン制作を兼務。 講義では実務に必要な基本的なスキルとトピックについて解説していこうと思います。</p>							
【到達目標】							
<p>Wordによるレポートや送付状や案内状の作成、Excelで関数を使った表を作成出来る。また、ショートカットなどを習得して操作を効率的に行うことが出来る。</p>							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション:学習をすすめる上で必要な準備や知識を理解
第2回	パソコン全般の基本的な知識、タイピング、ショートカットについて習得
第3回	Word基礎 起動と文字入力、ファイルの保存について
第4回	Word基礎 用紙の設定、文字の修飾
第5回	Word基礎 図形やイラストを利用した文章の作成
第6回	Word基礎 実践:送り状作成
第7回	Word基礎 レポートや企画書などの作成
第8回	Excel基礎 起動と文字入力、基本構造の理解
第9回	Excel基礎 文字の修飾、表のデザインについての技術習得
第10回	Excel基礎 セルの分割・結合
第11回	業界学習
第12回	Excel基礎 実践:関数を利用した表の作成
第13回	前期振り返り + テスト対策
第14回	評価週 筆記試験 + Wordを使用したレポートの提出
第15回	まとめ・追試/再試験 問題解説と後期導入部分の解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 + Wordを使用したレポートの提出
受講生へのメッセージ	<p>入学おめでとうございます。 パソコンを始めとするデバイスは目的を達成するために多種多様な解決方法を提供してくれます。そして正解はひとつではなく、常に新しくより良いものが生み出されています。 技術の習得は大事ですが、解決方法にたどり着くための考え方や感覚などを一緒に考えながら培っていきましょう。 パソコンの習熟度はみなさんそれぞれ違うと思いますが、助け合いながら頑張っていきましょう(人に教える、といったアウトプットも大事な習得方法です！)</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>PDFにて資料配布予定。ネットワーク共有フォルダよりコピーして使用。</p>	

科目名 (英)	英会話 English conversation	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>英語でのコミュニケーションを重視した指導を通じて生きた英語に触れ、基礎英会話力を向上させることを目的とする。 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、スピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。</p>							

授業計画・内容		
第1回	オリエンテーション、講義説明など	
第2回	1 How are you? Introductions	Can ask about and describe sequences 出来事の起こった順に説明ができるようになる。
第3回	L. 2, 3 Nice to meet you	Can talk and ask about past events. 週末や休暇の過ごし方について話せるようになる
第4回	L. 4 Nice weather, isn't it?	Can ask about and describe locations. Can give directions and ask for clarification. 道順や行き方について尋ねられるようになる。
第5回	L. 5, Music & L6 Movies	Can express likes and dislikes 好き・嫌い等の好みについての会話ができる。
第6回	L. 8 Adventure sports	Can describe features & appearance of objects. アイテムの特徴を述べる、また感想を伝えられるようになる
第7回	L. 1-6, 8 Review	Can ask and talk about quantities of food. 量について尋ねたり、述べたりできるようになる
第8回	L. 9 Family	Can ask about and describe needs. 自分がしたいこと、必要なこと(もの)を相手に伝えられるようになる
第9回	L. 10 Personalities	Can describe and talk about eating habits. 食生活について、コミュニケーションを取れるようになる
第10回	L. 11, 12 Clothes	Can ask about a describe food. 食べ物の味を表現できるようになる
第11回	業界学習	Can ask and talk about past events, part 2. 過去のできごとについて述べるができるようになる
第12回	L. 14 Extend conversation	Can react to news. 自分の意見を伝える、また相手の意見にリアクションできるようになる
第13回	L. 15 Sequences	Can ask about and describe future plans. 旅行や夢など、未来のことについて述べられるようになる
第14回	test	Semester test 本試験
第15回	Recap	Review of the semester test 試験解説
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。	
評価方法	試験 100%	
受講生へのメッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
Speak Now 1		

科目名 (英)	英会話 English conversation	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
英語でのコミュニケーションを重視した指導を通じて生きた英語に触れ、基礎英会話力を向上させることを目的とする。 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、スピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。							
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							

授業計画・内容		
第1回	L. 15 Sequences	Can ask about and describe sequences 出来事の起こった順に説明ができるようになる。
第2回	L. 29 stories	Can talk and ask about past events. 週末や休暇の過ごし方について話せるようになる
第3回	L. 19 & 20, directions	Can ask about and describe locations. Can give directions and ask for clarification. 道順や行き方について尋ねられるようになる。
第4回	L. 21, prices	Can ask about and give prices. 料金について尋ね、説明できるようになる。代金の交渉ができるようになる。
第5回	L. 23, habits	Can ask about and describe frequency. 会話の中で、質問をし、答えられるようになる
第6回	L. 24, adjectives	Can describe features & appearance of objects. アイテムの特徴を述べる、また感想を伝えられるようになる
第7回	L. 25, kinds of foods	Can ask and talk about quantities of food. 量について尋ねたり、述べたりできるようになる
第8回	L. 26, grocery shopping	Can ask about and describe needs. 自分がしたいこと、必要なこと(もの)を相手に伝えられるようになる
第9回	L. 27, healthy lifestyles	Can describe and talk about eating habits. 食生活について、コミュニケーションを取れるようになる
第10回	L. 28, dishes & menus	Can ask about a describe food. 食べ物の味を表現できるようになる
第11回	業界学習	Can ask and talk about past events, part 2. 過去のできごとについて述べるができるようになる
第12回	L.31, news	Can react to news. 自分の意見を伝える、また相手の意見にリアクションできるようになる
第13回	L. 32, the future	Can ask about and describe future plans. 旅行や夢など、未来のことについて述べられるようになる
第14回	Test	Semester test 本試験
第15回	Review	Review of the semester test 試験解説
準備学習 時間 外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。	
評価方法	試験 100%	
受講生へのメッ セージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】 Speak Now 1		

科目名 (英)	ブライダル基礎 I Basic Bridal Studies I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界での基礎知識を学び、ブライダルビジネスにおいて総合エキスパートを目指す授業を行います。 ※実務経験:ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】							
基本をしっかり身に付けてブライダル業界に興味を持ち、必要な知識・能力を高め将来の自己に役立ててほしいです。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業内容の説明、評価方法の説明(自己紹介)
第2回	ブライダルDVDでの感想(ホテル・レストラン)の相違を理解し説明できるようにする
第3回	ブライダルマナー(招待状の返信、参列者ファッション、のし袋の書き方等)を身に付けることができる
第4回	ブライダル概論(Ⅰ)ブライダル業界のマーケット、ブライダルの職種と役割を学び身に付けることができる
第5回	ブライダル概論(Ⅱ)ブライダル用語Aを学び身に付けることができる
第6回	ブライダル概論(Ⅲ)ブライダル用語Aを引き続き学び身に付けることができる
第7回	中間テスト(ブライダル用語50問)対策を学び身に付けることができる (A)
第8回	中間テスト解答と解説を学び身に付けることができる
第9回	ブライダル基礎(Ⅰ)披露宴の当日までのスケジュールを理解し説明できるようになる
第10回	ブライダル基礎(Ⅱ)今どきの演出&定番演出を理解し説明できるようになる
第11回	業界学習
第12回	ブライダル基礎(Ⅳ)披露宴の進行表を理解し説明できるようになる
第13回	期末テスト(ブライダル用語50問)対策を学び身に付けることができる (B)
第14回	期末テスト解答と解説を学び身に付けることができる
第15回	前期授業の振り返り
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	学科、中間テスト 50% 学科、期末テスト 50%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。ブライダル基礎をしっかり学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
ゼクシィまたは講師配布	

科目名 (英)	ブライダル基礎II Basic Bridal Studies II	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界にてプロデュース業20年以上のキャリアを活かし、社会人としてのブライダル基礎知識を身に付け、後期ではよりリアルウェディングにおいての実践能力を深め、またコミュニケーション力を身に付けるようにします。							
※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ・自らブライダルの進行が出来る。 ・コミュニケーション力を高める。(特にトーク力の強化)							

授業計画・内容	
第1回	披露宴の進行表を作成できる(グループワーク・洋・和)
第2回	和装進行表を作成できる(挙式、神殿)1日のスケジュールを理解する
第3回	和装進行表を作成できる(挙式、チャペル)1日のスケジュールを理解する
第4回	規模や招待客、披露宴の雰囲気イメージし、カウンセリングシートを作成する
第5回	カウンセリングシート完成を目指す(わかりやすく、記入しやすく、要点の重要性を学ぶ)
第6回	カウンセリングシートによる新規接客の基本(挨拶・名刺交換・トーク力・提案力)
第7回	中間評価試験
第8回	ハワイウェディングについて、日本打合せ・海外施行について理解し説明ができる
第9回	引出物、引菓子、縁起物の必要性を理解する / 見積書作成をし、見積書における説明ができる
第10回	①接客シュミレーションの基本(見積書からの提案ができる)
第11回	業界学習
第12回	③接客シュミレーションの基本(ペーパーアイテムからの提案ができる)
第13回	①ペーパーアイテム(招待状の基本知識を学ぶ) / ②ペーパーアイテム(席次表、メニュー表の基本知識を学ぶ)
第14回	期末評価試験
第15回	ブライダル基礎総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 中間50% 期末50%
受講生への メッセージ	後期ブライダル基礎を学んでリアルウェディングで自信を持ち、新郎新婦とのコミュニケーション力を発揮できるようになれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	
・ブライダルコーディネーターテキスト、スタンダード・講師テキスト配付	

科目名 (英)	ブライダルプランニング I Bridal planning	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学式スタイルの意味を理解し模擬挙式の企画、実行ができる授業を行う							
<p>※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在には育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年</p>							
【到達目標】							
基本の挙式を理解し、学生が自ら積極的に模擬挙式に役割を通し取り組み身につける							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業内容、自己紹介、挙式の意味を学び理解することができる
第2回	学式スタイルを理解することができる(神前式・チャペル式・人前式・仏前式)
第3回	人前式スタイル(模擬人前式)を各チームで企画することができる
第4回	人前式のプログラムを組み役割を決めることができる
第5回	チャペル挙式を見学し、人前式との相違を理解することができる
第6回	模擬人前式の企画プレゼンができる
第7回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第8回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第9回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第10回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第11回	業界学習
第12回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第13回	模擬人前式のリハーサルが完璧にできている
第14回	模擬人前式実行(評価は先輩に行ってもら)
第15回	前期の振り返りでのレポート提出(自身の成長評価をする)
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	・キリスト教式見学に於いてのレポート提出 ・模擬人前式でのグループ評価
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。初めての共同作業となる模擬人前式を全員でやり遂げてください
【使用教科書・教材・参考書】	
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルプランニングII Bridal planning	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
模擬披露宴を企画・運営するために、披露宴についての理解をより深めていきます。							
<p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】 ・披露宴の専門知識を学び、模擬披露宴を行うための知識や現場力を身につけることができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	前期振り返り・ブライダル用語Iを理解し説明することができる
第2回	ブライダル用語I小テスト/ブライダル用語IIを理解し説明することができる
第3回	映像を視聴し、披露宴について理解しディスカッションすることができる
第4回	結婚式の知識やマナーについて理解し説明することができる(招待状の返信ハガキを実際に書く)・披露宴とは何か理解し説明することができる
第5回	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(ドレスコーディネーター・フローリスト・アテンダー・司会)
第6回	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(カメラマン・映像・音響・サービス)
第7回	中間テスト(ブライダル用語編)
第8回	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日までの業務について)
第9回	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日の業務について)
第10回	披露宴の演出について調べ研究し内容を発表することができる
第11回	業界学習
第12回	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて考えたものをプレゼンテーションする)※アウトプット
第13回	テスト前対策
第14回	期末テスト・テスト返却
第15回	模擬披露宴準備
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50% 期末テスト50%
受講生への メッセージ	模擬披露宴を素晴らしいものにするために様々なことを学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ドレススタイリング基礎 Dressstyling foundation	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	久保 康代
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ドレススタイリストとしての基本的な知識を身につけ、ウエディングドレスの着付けが出来るようになる							
<p>※実務経験 福岡県ブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダルスタイリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネーターやファッションコーディネーターの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。</p>							
【到達目標】							
新郎新婦の衣装、または付随する小物についての基礎知識が身につく、基本的なコーディネートが出来るようになる							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介 ブライダル業界におけるドレススタイリストの役割とは?婚礼衣装業界の仕事内容などについて学ぶ
第2回	ウエディングの種類 現在の挙式スタイルについて学び理解する
第3回	ウエディングの歴史 日本そして世界における婚礼衣装の歴史を学び、理解する
第4回	新婦の洋装衣装のライン、素材について学び、説明する事が出来る
第5回	コラージュ作り①(自分の好きなテイストのコーディネート)
第6回	ドレスの装飾やパニエの種類を理解し、説明することが出来る
第7回	相モデルにドレスを着せる事ができる①
第8回	相モデルにドレスを着せる事ができる②
第9回	中間試験 相モデルに5分以内にドレスを着せる事が出来る
第10回	ドレスインナーについて理解し、説明する事が出来る
第11回	業界学習
第12回	コラージュ作り②(テーマの沿ったコーディネート)
第13回	期末試験準備
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験(実技) 期末試験(筆記)
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。結婚式において新婦様のお衣装選びはとても重要な要素の一つです。お客様に運命の1着が見つかるお手伝いをするのがドレススタイリストの仕事です。本授業でスタイリストの業務内容の基本を楽しみながら学んでいきましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。	

科目名 (英)	ヘアメイク基礎 Hair make basics	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】 技術者としての心構え、接遇を理解し、モデルの個性を見極め、似合うメイクと簡単なヘアアレンジができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	技術者としての接遇を知り、必要な道具の使い方を理解できるようになる。
第2回	いろいろなピンの使い方、ゴムの使い方を知り、実践できるようになる。
第3回	三つ編み、ロープ編み、編み込みなどのテクニックを実践できるようになる。
第4回	いろいろなシニヨンの作り方を実践できるようになる。
第5回	アイロンの使い方を習得し、実践できるようになる。
第6回	簡単なヘアアレンジを作ることができるようになる。
第7回	簡単なヘアアレンジを作ることができるようになる。
第8回	中間テスト 簡単なヘアアレンジを作ることができるようになる。
第9回	キュートなイメージでヘアアレンジを考え、仕上げるできるようになる。
第10回	クールなイメージでヘアアレンジを考え、仕上げるできるようになる。
第11回	業界学習
第12回	TPOに合わせたヘアアレンジを考え、仕上げるようになる。
第13回	モデルのメイクに合わせて、ヘアアレンジを考え、仕上げるようになる。
第14回	定期テスト メイクに合わせたヘアアレンジを仕上げる。
第15回	苦手部分の克服 克服できるようになる。
準備学習 時間外学習	日頃から、雑誌やSNSなどで、アンテナを張っておくこと。どうやって作れば形になるか、考えながら臨むこと。
評価方法	中間テスト・定期テスト 総合的に評価します。仕上がりのきれいさ、丁寧さを審査します。
受講生へのメッセージ	かわいいヘアスタイルなどを見かけたら、どうやったら作れるのか、まず考えてみてください。考えることによって、知識もテクニックを向上します。苦手意識を持たずに、楽しんで参加してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	ドレス服飾史 Dress Clothing History	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 衣服は「身を守るもの」「属性を示すもの」「立場を象徴するもの」「自己を表現するもの」「礼儀・マナー」として毎日欠かさず着用される。服飾史を学ぶことにより、その進化を理解する。また、その時代の人々の物の考え方や表現に触れることにより基礎力を高め、創造力を養う。 ※実務経験:(株)ユミカツラインターナショナルレンタルドレスサロンにてサブチーフアドバイザーとして9年勤務。同じくプレタクチュールサロンにてチーフアドバイザーとして5年勤務。 (一社)全日本ブライダル協会にて16年勤務。現在、全日本ブライダル協会認定講師、日本フォーマル協会認定ブライダル講師							
【到達目標】 基本的な服飾専門用語を理解できるようになる。 服飾の歴史を理解できるようになる。 歴史を学ぶことにより基礎力を高め、創造力を養う。							

授業計画・内容	
第1回	導入、「衣服とは何か？」を考えることにより服装に対する意識を高める。
第2回	古代Ⅰ メソポタミア・エジプトの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ペールの重要性)
第3回	古代Ⅱ ギリシャ・ローマの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ペールの重要性)
第4回	中世Ⅰ 中世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(キリスト教の影響)
第5回	中世Ⅱ 中世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ルネッサンスによる文化革命)
第6回	近世Ⅰ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(宗教改革の影響)
第7回	近世Ⅱ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(最盛期を迎えた貴族社会)
第8回	中間テスト
第9回	近代Ⅰ イギリス ヴィクトリア女王の結婚式から歴史を学ぶ(ウェディングドレスは何故白いのか?)
第10回	近代Ⅱ 近代ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(勤労を示す黒と貞淑を示す白)
第11回	業界学習
第12回	近現代Ⅱ この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解する(第二次世界大戦～現在)
第13回	試験対策を兼ねた復習
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50点、期末テスト50点 の合計点数で評価 中間試験:筆記試験 虫食い問題など50点 期末試験:筆記試験 虫食い問題など50点
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。服飾の歴史を学ぶことにより、衣服はどのような目的で着用されて来たのか理解できます。単に歴史を学ぶだけではなく、その時代の人々の物の考え方や表現に触れることを楽しんでください。それが基礎力を高め、創造力となり、唯一無二の自分の未来を作る力になると思います。
【使用教科書・教材・参考書】 「世界の服飾史のすべてがわかる本」「ドレス服飾史」	

科目名 (英)	ブライダルアイテム Bridal items	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>前期で学んだ衣装に関する基礎知識をもう一度しっかり復習し、自分の知識として定着させる。 基礎を踏まえた上で、衣装に関する実践的な知識を学ぶ。</p> <p>※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダルスタイリストと東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。現在は主にドレスコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。</p>							
【到達目標】							
衣装に関する基礎をしっかりと定着させ、2年生での応用に対応出来るようになる。							

授業計画・内容	
第1回	ディスプレイについて学ぶ(ハロウィン編)①企画
第2回	//②ディスプレイ
第3回	ドレスライン、素材、ブーケ等の復習
第4回	実習室内の新作ドレス、タキシードカルテを製作する①
第5回	実習室内の新作ドレス、タキシードカルテを製作する②
第6回	実習室内の新作ドレス、タキシードカルテを製作する③
第7回	新婦に必要なウオーキング&美姿勢を学び、新婦へのアドバイスが出来るようになる
第8回	品出し、アイロンやスチームがけについて学ぶ
第9回	ディスプレイについて学ぶ(クリスマス編)①企画
第10回	ディスプレイについて学ぶ(クリスマス編)②ディスプレイ
第11回	業界学習
第12回	NYBFW(ニューヨーク・ブライダル・ファッションウィーク)について学ぶ
第13回	NYBFWについてのレポート作成をする
第14回	期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験(実技) 期末試験(レポート)
受講生への メッセージ	前期は衣装に関する基本の「き」を学びました。後期はその基礎をしっかりと自分のものにし、スタイリストとして必要な新たなスキルを身につけ、2年生で実地応用できるようステップアップしていきましょう！どうぞよろしくお願いいたします！！
【使用教科書・教材・参考書】	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用いたします。	

科目名 (英)	写真・SNS Photo & movie exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロとしてのメディア制作や撮影の実務経験ある教員が、写真の撮影や映像編集、また選定方法についての授業を実施します。 ※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(プライダル・広告)							
【到達目標】 撮影技術について理解し、撮影について提案することができる。 撮影された写真・映像を理解し選定することができる。							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介、他己紹介、プライダル業界における映像、写真の役割を理解し説明することができる
第2回	写真・映像を選定するにあたって、いい写真・映像とは何かを考え、ディスカッションすることができる
第3回	構図と画面比率について理解し、説明することができる
第4回	写真のメタ情報について理解し、説明することができる。ファイル情報共有を行うことができる
第5回	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる
第6回	焦点距離について理解し説明することができる
第7回	絞りとシャッター速度について理解し説明することができる
第8回	露出について理解し説明することができる
第9回	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる
第10回	人物撮影のポイントについて理解し説明することができる
第11回	業界学習
第12回	照明や三脚などのカメラアクセサリについて学習し、活用方法を理解し説明することができる
第13回	撮影演習 これまでの授業の内容を活かして撮影し、それを説明することができる
第14回	写真選定と撮影技術についてのテスト
第15回	写真撮影と撮影技術についてのテストと振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験 100%
受講生への メッセージ	昔は特別な体験だった写真撮影・映像編集が、今はスマートフォンの普及により一般化しました。それにより現代では、求められる技術も高くなっていますが、授業を通してホスピタリティのプロとしての一歩先の写真の知識を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	音響・照明演習 Sound and lighting exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	※情報公開分コピー
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルにおける音響・照明・映像・演出業務の学習及び実習をおこないます。現在取り締まりが厳しくなっているブライダル業界における音楽著作権、違法ダウンロードの説明等。特殊な演出業務。最新鋭の映像演出(プロジェクションマッピング)等をしっかり体感してもらいながら学んでもらいます。 ※実務経験 アルマリアン福岡(2013～)、ホテルマリノアリゾート福岡(2020～)、博多百年蔵(2019～)、ホテルモントレ沖繩スパ&リゾート(2013～)、ホテルモントレラスール福岡(2011～)、ララジャンス伊万里迎賓館(2016～) 音響照明セクション現場責任者							
【到達目標】 業界の中身を詳しく説明し、音響・照明・映像・演出業務の基礎の部分を理解出来る。 プランニングする上で、お客様の思いを形にする事が出来るという事をプランナーの立場として理解する事が出来る。 これからのブライダル業界のエンターテインメント性を理解する事が出来る。							

授業計画・内容	
第1回	ブライダル演出業務について * 演出内容が理解できるようになる。
第2回	ブライダルにおける音響操作についてまた基本的に知識 * 簡易的な操作の流れの意味がわかるようになる。
第3回	音楽著作権、および違法ダウンロードについて * 法律による規制が理解出来るようになる。
第4回	BGMコーディネートについて① * お客様として * 新郎新婦の気持ちが理解出来るようになる。
第5回	BGMコーディネートについて② * コーディネーターとして * プランナーとしての気持ちが理解出来るようになる。
第6回	機材関係について① 宴会場にスタンバイされている機材関係について * 機材の簡易的な操作が理解出来るようになる。
第7回	機材関係について② 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
第8回	機材関係について③ 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
第9回	サプライズ演出(フラッシュモブ、メモリーブレイ等について) * サプライズ演出が理解出来るようになる。
第10回	プロジェクションマッピング演出について * 大画面映像演出の仕組みが理解出来るようになる。
第11回	業界学習
第12回	スマートフォンでの活用法② 写真加工等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。
第13回	スマートフォンでの活用法③ 動画等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。(評価)レポート提出
第14回	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる①
第15回	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる②
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポートによる試験を行います。一人一人の考えや意見を尊重していきながら、しっかり思いを記入していただくような内容にしたいと考えております。 また、内容によって実技も入れていこうと考えております。
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。コロナ禍の中で大変な時期にこの業界のお仕事を志してくれて本当に嬉しく思います。 みなさんの力がこれからのこの業界を必ずもっと上のステージに持ち上げていけると確信しております。しっかり楽しく勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	会場装花・フラワーアレンジメント Flower Exercise	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえて、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだブライダル・フラワートレンド講義を行う。							
【到達目標】							
トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを学び、実践に活かすスキルを身につける。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション・自己紹介／授業内容について
第2回	昨今のブライダルトレンドを読み解き説明できるようになる。
第3回	シーズナルイベント装花／マザーズデーアレンジメント制作ができるようになる。
第4回	ブライダルドレストレンドを学び説明できるようになる。
第5回	年間のフラワーイベントについて理解することができる。
第6回	ブライダルブーケ制作／クラッチスタイルについて理解することができる。
第7回	中間試験
第8回	昨今のテーブルコーディネートを理解することができる。
第9回	これまでの講義をふまえ、ブライダルトレンドプレゼン資料を製作する。
第10回	ブライダルトレンドについて理解しプレゼンテーションすることができる。
第11回	業界学習
第12回	期末試験
第13回	まとめ・解答、授業を振り返りブライダルフラワーの一連の流れを説明できる。
第14回	イベントを企画、運営し実践できる。
第15回	イベントを企画、運営し実践できる。
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験30%/期末試験70%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを実習を交えながら楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。	

科目名 (英)	パーソナルカラー検定3級 Personal colorist grade 3	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】 パーソナルカラー検定3級合格に必要な知識、技術を習得できる。基本的な色彩知識を習得し、ブライダル分野でどう生かせるか考え、実践できるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	パーソナルカラーとは何かを知り、理解できる。第1章 日本の色の歴史
第2回	第1章 日本の色の歴史 まとめ、ポイントを理解できる。
第3回	第1章 色の種類 まとめ、ポイントを理解できる。
第4回	第2章 色のしくみ CUS表色系 ポイントを理解できる。
第5回	第2章 CUS表色系 まとめ、ポイントを理解できる。
第6回	第2章 三属性 対比、感情効果 まとめ、ポイントを理解できる。
第7回	第2章 CUS配色効果 まとめ、ポイントを理解できる。
第8回	中間テスト 第1章・第2章より出題 第3章 ファッション概論 ポイントを理解できる。
第9回	第3章 ファッション概論 まとめ、ポイントを理解できる。
第10回	第4章 パーソナルカラー① ポイントを理解できる。
第11回	業界学習
第12回	第4章 パーソナルカラー③ ポイントを理解できる。
第13回	定期テスト対策 過去問を解いて、理解を深める。
第14回	定期テスト 全章より出題
第15回	まとめ、振り返り、解説 苦手部分を克服する。
準備学習 時間外学習	必ず復習をして次回授業に臨むこと。難しい単元もありますが、事前に教科書に目を通しておくと理解力が増します。
評価方法	中間テスト+定期テスト 合計100点満点にて成績評価します。
受講生へのメッセージ	色彩についての勉強です。身近にある【色】についてじっくり考えてみましょう。ややこしい単元もありますが、勉強すれば必ず理解でき、検定合格もできます。将来、ブライダル各分野だけでなく、日常生活でも生かせる知識となります。まずは、色に興味を持って取り組んでみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード	

科目名 (英)	ドレスデッサン Dress dessin	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ドレスをはじめ、ドレスに付随する小物などを描写し、美的感覚を養い、色彩感覚を身につけることができる。 色の使い方の基本を理解し、実践できるようになる。</p> <p>※実務経験 デザインや絵の仕事をフリーで行う。講師としては、高等専修学校や専門学校にて、レッスンをを行う。5年目。</p>							
【到達目標】							
<p>考えついたデザインを思うように描けることで、現場での接客力/提案力を身に付ける 絵を上手になるより、色彩感覚を身に付けることができる</p>							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介、ドレスデザインとは、作品例を見ながら道具説明の役割を知ることができる
第2回	ドレスデザインの基本練習、鉛筆で下書き、バランスの良い構図の書き方を習得する。(鉛筆の硬さの使い分けができる)
第3回	写真と手描きデザイン図の違い、ドレスデザインをするとき人体比率(基本10頭身長以上)、見本を見ながらモノクロのライオンでスタイル良く描くことができる。(鉛筆)
第4回	体のパーツを描く練習、(手、脚、髪方、顔)骨と筋肉の形を知り、動きやポーズに合わせてよりドレスを美しく見せる描き方を理解する。(鉛筆)
第5回	モデルポーズの描き方、重心をブレずに、美しくバランスの良い構図をし、3ポーズ以上を描くことができる。
第6回	着色、(肌色)モデルになる人体の着色。色の使い分けや筆技で人種や年齢を表現することができる。
第7回	ドレスデザインは想像力が欠かせない、布生地の質感重さ、アクセサリー装飾品まで仮想し、センス良くデザイン図を描くことができる。
第8回	課題練習1、テーマを決めて、ドレスデザインを描く練習する。
第9回	課題練習2、季節感のあるモチーフを探り入れてテーマを決めてドレスデザインを描く。
第10回	課題練習3、場面をセッティングし、ヘアスタイルから布生地の素材、アクセサリーまでデザインを描く。
第11回	業界学習
第12回	課題練習5、生徒同士テーマを出し、短時間でヘアスタイルから装飾品やアクセサリー、ドレスの質感までデザイン図を描く。
第13回	期末試験準備
第14回	期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	テスト結果70%、出席率20%、授業態度10%
受講生への メッセージ	自分の可能性を引き出す機会を作る。新たな才能を発見出来るかもしれないです！
【使用教科書・教材・参考書】	
WEB & ファッション誌、オリジナル資料	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	選択必修	年次	2・3	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。							
【到達目標】 2025年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる (2025年1月第4水曜日予定)							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 授業内容の説明、評価方法の説明、教本の説明が理解できる
第2回	ブライダルコーディネイトとは 第1章 結婚の定義が理解できる(P1～P11)
第3回	第2章 日本の結婚式と歴史と文化の定義が理解できる(P12～P17)
第4回	結婚に関する風習・いわれ 第3章 欧米の結婚式、歴史と文化(P17～P26)
第5回	3.欧米の結婚式 ①イギリス②フランス③イタリア④アメリカ の理解ができる(P26～P32)
第6回	第1章 ブライダルビジネス 第2章 ブライダル市場 第3章 ブライダル業種が理解できる(P34～P39)
第7回	第4章 ブライダル関連業種 中間テスト告知が理解できる(P40～P44)
第8回	中間テスト実施、解答が理解することができる
第9回	第5章 ブライダルのエリア特性 第6章ブライダル業界の1年と集客システム 第1章 見合いと婚約(P45～P57)
第10回	第2章 結納、婚約式が理解できる(P58～P68)
第11回	業界学習
第12回	第5章 神前式 第6章 仏前式 第7章 人前式の理解ができる(P76～P83)
第13回	神前式・仏前式・人前式・キリスト教式のテスト、その後の解説を学び身に付けることができる
第14回	期末テスト(コーディネイト検定の告知)
第15回	期末テスト、解答と前期の振り返り
準備学習 時間外学習	6/20は結納品の授業で2教室使用したいので空き教室があればお知らせください
評価方法	中間テスト 50%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。これからの2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結びつけてください
【使用教科書・教材・参考書】	
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルコーディネーター検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。							
※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】 2025年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる (2025年1月第4水曜日予定)							

授業計画・内容	
第1回	第4章 ブライダル関連業種、第5章ブライダルのエリア特性(P40~P47)を理解し説明できる
第2回	第6章 ブライダル業界の1年と集客システム(P48.P49)を理解し説明できる
第3回	Lesson3 ブライダルの基礎、第1章 見合いと婚約(P52~P57)を理解し説明できる
第4回	第2章 結納・婚約式(P58~P68)を理解し説明できる
第5回	小テスト(前週の復習)、第3章ブライダル準備(P69.P70)を理解し説明できる
第6回	第4章 キリスト教式(P71~P75)を理解し説明できる
第7回	第5章 神前式、第6章 仏前式、第7章 人前式(P76~P83)を理解し説明できる
第8回	第8章 シビルマリッジ、第9章 披露宴、第10章 海外ウェディング、第11章 二次会(P84~P91)を理解し説明できる
第9回	Lesson4 コーディネーター業務、第1章 コーディネーター業務とは(P94~P100)を理解し説明できる
第10回	第2章 新規業務、第3章 ブライダルセールスの特徴(P101~P108)を理解し説明できる
第11回	業界学習
第12回	第7章 新規アフターフォロー、第8章 成約業務、第9章 ペーパーワーク(P115~P121)を理解し説明できる
第13回	過去問、模擬試験を実施
第14回	フィードバック、苦手を克服することができる
第15回	テスト解答と総復習
準備学習 時間外学習	個人の理解力を把握するため、小テストを実施
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。これから2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結び付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ・ブライダルコーディネーターテキスト、スタンダード・講師テキスト配付	

科目名 (英)	フード&ビバレッジ I food & bevalage	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	濱中 健一
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	土曜日 指定週
【授業の学習内容】 フードからドリンクまで食の分野に関する基礎知識を学びます ※教務実務経歴: 1994年～2011年まで現場でパティシエとして勤務、ホテルのシェフパティシエや商品開発も行う 資格: 技能検定1級、職業訓練指導員他							
【到達目標】 業界で働くにあたって必要な食に関する基礎知識を取得出来る <具体的な目標> 食べ物の味覚の違いや季節間、コース料理の流れや簡単なマナーを身に付けることが出来る							

授業計画・内容	
1回目	婚礼料理について
2回目	味覚についての基礎知識 色々な食べ物を知る (実験)
3回目	料理の種類 (世界、日本)
4回目	色々な料理の流れを知る
5回目	デザート チョコレートについて
6回目	農業や野菜について (平野先生)
7回目	調理 (白川先生) 料理についての基礎知識
8回目	調理 (白川先生) 料理についての基礎知識
9回目	ドリンク実習 (上園先生)
10回目	パン実習(佐藤先生)
11回目	業界見学
12回目	業界見学
13回目	プレゼン準備
14回目	プレゼンテーション
15回目	レポート提出
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●出席点(50%) ●プレゼンテーション(25%) ●レポート提出(25%) 授業内で習った内容の確認
受講生への メッセージ	お客様に喜んでもらうためにはまずは自分が食の楽しさを知ることが大事です。 色々なことに興味を持って取り組みましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム / プレゼンテーション	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	大西 希久永
	Career program / presentation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 / ホスピタリティマネジメント科				2	曜日・時限	水曜日5時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】皆さんが希望する進路においても、いかにプレゼンテーションスキル習得が就職活動、また卒業後の各自の強みになるかを認識してもらったうえで、意欲的に学んでもらいたく考えます。プレゼンテーションに必要なスキルの基礎を学び、授業ごとにポイントを決めて実践。プレゼンテーション力の向上を目指します。							
【実務経験】局勤め含めて喋り歴約20年。アナウンサー業、また様々な業界業種の研修、人材に関してやプロモーション方法など企業へのアドバイス業務を行なっている講師が、実用的/効果的なPowerpoint作成、プレゼンテーションの仕方を習得出来るよう授業を実施します。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンテーションを行う際に第一優先で必要なことを理解する。 ●社会人になった際に、身につけておく様々なシーンで役立つプレゼンテーションスキルを習得出来る。(授業内で繰り返し実践することで人前で話すことに慣れることが出来る。) ●自分の考えや企画をPowerpointで作成出来、Powerpoint を使用してのプレゼンテーションが出来る。 							
授業計画・内容							
1回目	学ぶ目的/メリットを説明。人前での自己紹介を通して、現時点でのプレゼンスキルの確認と今後目指すプレゼンテーションのヒントを各自がイメージ出来るようになる。						
2回目	プレゼンテーションを行う前に基礎を習得、実践出来るようになる。						
3回目	プレゼンテーションで本来考えるべきポイントを明確化出来るようになる。						
4回目	1~2枚のスライドを使用してのプレゼンテーション。Powerpointというツールの本来の意味を理解しプレゼンテーションが出来るようになる。						
5回目	1~2枚のスライドを使用してのプレゼンテーション。前回の個々の改善点をしっかり改善出来るようになる。						
6回目	プレゼンテーション作成の流れを理解し、作成に落とし込めるようになる。						
7回目	情報収集、聞き手分析の重要性に気づくことが出来、取り組めるようになる。						
8回目	プレゼンテーション時のPowerpointのスライド作成順を理解したうえで、作成が出来るようになる。						
9回目	(発表に向けての作成準備)個々のPowerpoint作成における強み、改善点を認識出来るようになる。						
10回目	Powerpointを使用してのプレゼンテーション発表① Powerpointを使用してのプレゼンテーションに慣れることが出来る。						
11回目	業界学習						
12回目	(発表に向けての準備)これまでの授業を踏まえたプレゼンテーション準備が行えるようになる。						
13回目	(発表に向けての準備)これまでの授業を踏まえたプレゼンテーション準備が行えるようになる。						
14回目	★評価週 Powerpointを使用しての グループ発表						
15回目	★まとめ・追試/再試 発表フィードバック/まとめ						
準備学習 時間外学習	基本的には授業中の作業のみ。授業時にPowerpoint 作成、プレゼンテーション練習が終わらなかった際のみ、授業時間外に実施。						
評価方法	授業内でのレポート提出20% 個人発表30% 期末でのグループ発表50%						
受講生への メッセージ	就職活動の際、社会人になってからと、人前でのプレゼンテーションが必要となる場面が多々出てくると思います。必要になった際に慌てて知識を習得するのではなく、早い段階で知識を習得しておくこと、慣れておくことが重要です。本講義ではプレゼンテーションに慣れること、実用的/効果的なプレゼンテーションの仕方を習得することを目標に授業を行なっていきます。授業を通して皆さんの「伝える力」を伸ばしてください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

科目名 (英)	JMA検定3級 JMA test grade 3	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
JMA3級検定に合格できる知識と技術を得得する。 ※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを手掛けながら、専門学校等で講師も務める。また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】 技術者として必要とされるマナー、接遇を身に付け、JMA3級検定に合格できる知識と技術を得ることができる。							

授業計画・内容	
第1回	JMAとは何か、道具の使い方、技術者としての心構えを理解することができる。
第2回	セッティング、手指消毒、スキンケア(クレンジングまで)技術を得得し、実践できる。
第3回	セッティング、手指消毒、スキンケア(乳液まで)技術を得得し、実践できる。
第4回	ポイントクレンジング～乳液までをスムーズに行い、基本のベースメイクの作り方を知り、理解できる。
第5回	JMA3級ベースメイクの作り方を理解し、実践できる。
第6回	スキンケア～ベースメイク(フェイスパウダーまで)をスムーズに行うことができる。
第7回	リキッドファンデーションテクニック強化 色、厚み、ムラ等に気を付け、美しく仕上げることができる。
第8回	コンシーラーテクニック強化 色、量、ムラ、使用箇所等に気を付け、美しく仕上げることができる。
第9回	基本的な骨格補正(チーク、ハイライト、ローライト)方法を知り、実践できる。
第10回	骨格補正をモデルに合わせて美しく仕上げるすることができる。
第11回	業界学習
第12回	JMA3級内容を30分以内で美しく仕上げるすることができる。
第13回	JMA3級内容を30分以内でモデルに合わせ、美しく仕上げるすることができる。
第14回	定期試験 JMA3級内容
第15回	フィードバック、苦手部分の克服ができる。
準備学習 時間外学習	習った点は必ず復習し、翌週に生かせるように練習して臨んでください。
評価方法	定期テスト100% 技術者としてのマナー、手技、手順が正しいか、仕上がりが美しいか等、総合的に評価します。
受講生への メッセージ	手順が細かく決まっており、最初は煩わしいと思うかもしれませんが、努力すれば必ず合格できる検定です。メイクの知識、テクニックの向上も望めますし、履歴書にも記入できる検定です。苦手意識を持たず、意欲的に取り組みましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
JMAテキスト、メイク道具、筆記用具	

科目名 (英)	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修 選択	選択必修	年次	1・2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) フライタル業界経験24年の専任講師が、キャリア教育で必要とされる、自己肯定感を高め、アクティブラーニングができ、1年間の集大成として、チームワークを活かし模擬披露宴を完成させることができる。							
【到達目標】 協調性、チームワークを活かし、1年間の集大成としてチームでひとつの模擬披露宴を完成させる。							

授業計画・内容	
第1回	・授業内容把握、チームで何かを成し遂げるために必要なこと5カ条をグループワーク。
第2回	チーム分け、新郎新婦の設定から、披露宴のテーマをチームで導き出すことができる。
第3回	披露宴に必要な役割を考え、チーム内で役割分担をすることができる。
第4回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第5回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第6回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第7回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第8回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第9回	中間発表
第10回	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。
第11回	業界学習
第12回	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。
第13回	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する。
第14回	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する。
第15回	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する。
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト 100%
受講生への メッセージ	進級制作、初めてのことはばり、きつと緊張もします！その不安はチームワークでいい緊張感に変わっていきます。相手に何かを伝えることは自分自身をしっかりと理解して、あなた自身を受け入れることから始まります。また、相手を受け入れることが課題である、チームワークの鍵となります！ We areでキラキラした瞳と自分の笑顔を想像して、挑んでください！そして、あと少しの努力。を忘れずにやってみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プレゼンテーション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大西 希久永
	presentation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前・後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科/ホスピタリティビジネス科				4	曜日・時限	水曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
皆さんが希望する進路においても、いかにプレゼンテーションスキル習得が就職活動、また卒業後の各自の強みになるかを認識してもらったうえで、意欲的に学んでもらいたく考えます。プレゼンテーションに必要なスキルの基礎を学び、授業ごとにポイントを決めて実践。プレゼンテーション力の向上を目指します。							
※実務経験:局勤め含めて喋り歴約20年。アナウンサー業、また様々な業界業種の研修、人材に関してやプロモーション方法など企業へのアドバイス業務を行なっている講師が、実用的/効果的なPowerpoint作成、プレゼンテーションの仕方を習得出来るよう授業を実施します。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンテーションを行う際に第一優先で必要なことを理解する。 ●社会人になった際に、身につけておく様々なシーンで役立つプレゼンテーションスキルを習得出来る。(授業内で繰り返し実践することで人前で話すことに慣れることが出来る。) ●自分の考えや企画をPowerpointで作成出来、Powerpoint を使用してのプレゼンテーションが出来る。 							
授業計画・内容							
1回目	学ぶ目的/メリットを説明。人前での自己紹介を通して、現時点でのプレゼンテーションスキルの確認と今後目指すプレゼンテーションのヒントを各自がイメージ出来るようになる。						
2回目	プレゼンテーションを行う前に基礎を習得、実践出来るようになる。						
3回目	プレゼンテーションで本来考えるべきポイントを明確化出来るようになる。						
4回目	1~2枚のスライドを使用してのプレゼンテーション。Powerpointというツールの本来の意味を理解しプレゼンテーションが出来るようになる。						
5回目	1~2枚のスライドを使用してのプレゼンテーション。前回の個々の改善点をしっかり改善出来るようになる。						
6回目	プレゼンテーション作成の流れを理解し、作成に落とし込めるようになる。						
7回目	情報収集、聞き手分析の重要性に気づくことが出来、取り組めるようになる。						
8回目	プレゼンテーション時のPowerpointのスライド作成順を理解したうえで、作成が出来るようになる。						
9回目	(発表に向けての作成準備)個々のPowerpoint作成における強み、改善点を認識出来るようになる。						
10回目	Powerpointを使用してのプレゼンテーション発表① Powerpointを使用してのプレゼンテーションに慣れることが出来る。						
11回目	業界学習						
12回目	(発表に向けての準備)これまでの授業を踏まえたプレゼンテーション準備が行えるようになる。						
13回目	(発表に向けての準備)これまでの授業を踏まえたプレゼンテーション準備が行えるようになる。						
14回目	評価週 Powerpointを使用しての グループ発表						
15回目	まとめ・追試/再試発表フィードバック/まとめ						
準備学習 時間外学習	基本的には授業中の作業のみ。授業時にPowerpoint 作成、プレゼンテーション練習が終わらなかった際のみ、授業時間外に実施。						
評価方法	授業内でのレポート提出20% 個人発表30% 期末でのグループ発表50%						
受講生への メッセージ	就職活動の際、社会人になってからと、人前でのプレゼンテーションが必要となる場面が多々出てくると思います。必要になった際に慌てて知識を習得するのではなく、早い段階で知識を習得しておくこと、慣れておくことが重要です。本講義ではプレゼンテーションに慣れること、実用的/効果的なプレゼンテーションの仕方を習得することを目標に授業を行なっていきます。授業を通して皆さんの「伝える力」を伸ばしてください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							